

対象校No. 976
注4

学校コード F133310109554
注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

認可

注2
岡山理科大学 生命科学部 医療技術学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人加計学園
令和8年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	企画部
職名・氏名	フチョウ ヤマナカ タカヨシ 部長・山中 崇良
電話番号	086-256-8414
(夜間)	086-256-8431
e-mail	kikaku@ous.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(令和◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・「〇〇短期大学 △△学科」
・「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)」
・「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和8年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

生命科学部

＜医療技術学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	25
5. 教育研究実施組織の状況	27
6. 附帯事項等に対する履行状況等	79
7. その他全般的事項	84

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人加計学園

(2) 大 学 名

岡山理科大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒700-0005
岡山県岡山市北区理大町1番1号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カケ マモル) 加 計 役 (令和6年6月)		
学 長	(ヒラノ ヒロユキ) 平 野 博 之 (令和4年4月)		
学 部 長	(ナイキ タケル) 内 貴 猛 (令和6年4月)		
学科長等	(カタオカ ケン) 片 岡 健 (令和7年4月)		

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
(例) 令和7年度に報告する内容 → (7)
令和8年度に報告する内容 → (8)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・ 様式は、令和３年度開設の４年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和８年度までの６年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が７年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5)－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
生命科学部 医療技術学科 学士(生命科学)	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	4年	70人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	280人	－	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１）又は（その２の２））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「－」を選択。）

(5)－② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		令和８年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 （控除後）	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 70 (－) [－]	人 70 (－) [－]	人 70 (－) [－]	人 70 (－) [－]	人 70 (－) [－]		0.72倍	一倍	
志願者数	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 231 (－) [－]	人 － (－) [－]	人 289 (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	春季入学以外の 入学時期と 入学定員内訳			
受験者数	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 228 (－) [－]	人 － (－) [－]	人 281 (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]				
合格者数	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 209 (－) [－]	人 － (－) [－]	人 261 (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]				
B 入学者数	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]	人 46 (－) [－]	人 － (－) [－]	人 56 (－) [－]	人 － (－) [－]	人 － (－) [－]				
入学定員超過率 B／A	－		－		－		－		0.65		0.80					

- (注)・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「－」を記入してください。
 - ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 転入学生は記入しないでください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
 - ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「－」を選択。）
 - ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における５月１日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和９年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・ 「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第１条第２項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第２項及び第４項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・ 「(5)－② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(５)－③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	46 [－] (－)	－ [－] (－)	56 [－] (－)	－ [－] (－)	
2年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	46 [－] (－)	－ [－] (－)	
3年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
4年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計			－ [－] (－)				－ [－] (－)		－ [－] (－)		－ [－] (－)		

- (注)・ 報告年度の５月１日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和3年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	46 人	0 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
令和8年度	102 人	0 人	令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	0 人	0 人	
			令和8年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

令和3年度の退学者数(a)

令和3年度の在学者数(a+b)

=

-

#VALUE!

=

-

%

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\text{\#VALUE!}} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{46} = \boxed{0} \%$$

【令和8年度】

$$\frac{\text{令和8年度の退学者数(a)}}{\text{令和8年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{102} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<生命科学部 医療技術学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 （ 助 手 外 ）	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 盤 教 育 科 目	ラ イ フ ・ キ ャ リ ア デ ザ イ ン 系 科 目	フレッシュマンセミナー	1前	○	2								4
		キャリアデザイン1	1後	○		1							2
		キャリアデザイン2	2通	○		1							4
		キャリアデザイン3	3通	○		1							4
		キャリアデザイン4	4通	○		1							2
		セルフ・アウェアネス	1前			2							5
		アサーティブ・コミュニケーション	1前			2							1
		ライフ・ビルディング	1前			2							6
		ファシリテーション演習	2前			2							6
		学びの基礎論1	1前			2							1
		学びの基礎論2	1後			2							1
		理解と表現	1前			2							6
		キャリア形成論	2前			2							3
		企業情報特論	2前			2							3
		インターンシップ入門	1後			1							3
		インターンシップA	3前			1							2
		インターンシップB	3前			2							2
		インターンシップC	3前			3							2
		社会・産業実習	3前			3							2
		産業課題研究演習	3通			2							6
		グローバル入門	2前			2							3
		グローバル実践	2後			1							2
		グローバル研修ⅠA	1前			1							1
		グローバル研修ⅠB	1前			1							1
		グローバル研修ⅠC	1前			1							1
		グローバル研修ⅡA	1前			2							1
		グローバル研修ⅡB	1前			2							1
		グローバル研修Ⅲ	1前			3							1
		フィットネス	1前			1							2
		アドベンチャースポーツ	1前			2							6
		ウインタースポーツ	1後			2							9
		スポーツスタディ	1前			1							8
		健康の科学	1前・後			2							5
		生涯スポーツ	1前・後			1							6
	小計(34科目)	－	－		2	56	0	0	0	0	0	0	49
	人 間 ・ 社 会 学 系 科 目	人間を読みとくA	1前・後			2							9
		人間を読みとくB	1前・後			2							8
		文化を読みとくA	1前・後			2							1
		文化を読みとくB	1前・後			2							18
		社会を読みとくA	1前・後			2							7
		社会を読みとくB	1前・後			2							13
		日本国憲法	1前・後			2							1
		関係法規	4①			1		1					
		小計(8科目)	－	－		0	15	0	1	0	0	0	0
	科 学 技 術 系 科 目	データを読みとく	1後			2							7
		自然を読みとく	1前			2							22
		技術を読みとく	1後			2							20
		情報リテラシー	1前	○	2								1
		コンピュータ演習	1後			2							1
		情報科学概論	3②	○	1		1						
		情報処理工学	1前	○	2		1						
		基盤数学(微分積分1)	1前			2							4
		基盤数学(微分積分2)	1後			2							4
基盤数学(線形代数)		1前			2							4	
基盤物理学1		1前			2							5	
基盤物理学2		1後			2							5	
基盤化学1		1前			2							3	
基盤化学2		1後			2							3	
基盤生物学1		1前			2							2	
基盤生物学2		1後			2							2	
基盤地学1		1前			2							3	
基盤地学2		1後			2							3	

【令和8年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 （ 助 手 外 ）	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基 盤 教 育 科 目	ラ イ フ ・ キ ャ リ ア デ ザ イ ン 系 科 目	フレッシュマンセミナー	1前	○	2								7
		キャリアデザイン1	1後	○		1							6
		キャリアデザイン2	2通	○		1							7
		キャリアデザイン3	3通	○		1							7
		キャリアデザイン4	4通	○		1							5
		セルフ・アウェアネス	1前			2							2
		アサーティブ・コミュニケーション	1前			2							1
		ライフ・ビルディング	1前			2							4
		ファシリテーション演習	2前			2							4
		学びの基礎論1	1前			2							2
		学びの基礎論2	1後			2							2
		理解と表現	1前			2							6
		キャリア形成論	2前			2							3
		企業情報特論	2前			2							5
		インターンシップ入門	1後			1							4
		インターンシップA	3前			1							3
		インターンシップB	3前			2							3
		インターンシップC	3前			3							3
		社会・産業実習	3前			3							3
		産業課題研究演習	3通			2							3
		グローバル入門	2前			2							2
		グローバル実践	2後			1							2
		グローバル研修ⅠA	1前			1							1
		グローバル研修ⅠB	1前			1							1
		グローバル研修ⅠC	1前			1							1
		グローバル研修ⅡA	1前			2							1
		グローバル研修ⅡB	1前			2							1
		グローバル研修Ⅲ	1前			3							1
		グローバルエリート入門	1前			2							1
		フィットネス	1前			1							2
		アドベンチャースポーツ	1前			2							1
		ウインタースポーツ	1後			2							7
		スポーツスタディ	1前			1							7
		健康の科学	1前・後			2							7
		生涯スポーツ	1前・後			1							9
	小計(35科目)	－	－		2	58	0	0	0	0	0	0	45
	人 間 ・ 社 会 学 系 科 目	人間を読みとくA	1前・後			2							7
		人間を読みとくB	1前・後			2							6
		文化を読みとくA	1前・後			2							19
		文化を読みとくB	1前・後			2							13
		社会を読みとくA	1前・後			2							17
		社会を読みとくB	1前・後			2							27
		日本国憲法	1前・後			2							1
		関係法規	4①			1		1					
		小計(8科目)	－	－		0	15	0	1	0	0	0	0
	科 学 技 術 系 科 目	データを読みとく	1後			2							7
		自然を読みとく	1前			2							23
		技術を読みとく	1後			2							9
		情報リテラシー	1前	○	2								1
		コンピュータ演習	1後			2							1
		情報科学概論	3②	○		1		1					
		情報処理工学	1前	○		2		1					
		基盤数学(微分積分1)	1前			2							6
基盤数学(微分積分2)		1後			2							6	
基盤数学(線形代数)		1前			2							6	
基盤物理学1		1前			2							5	
基盤物理学2		1後			2							5	
基盤化学1		1前			2							3	
基盤化学2		1後			2							3	
基盤生物学1		1前			2							1	
基盤生物学2		1後			2							1	
基盤地学1		1前			2							3	
基盤地学2		1後			2							3	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 等 の 配 置 に 関 連 す る 他 の 教 員 （ 助 手 等 ） を 除 く	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門教育科目	学部 共 通 科 目	生命科学概論Ⅰ	1前			2		4	1	1			9	
		生命科学概論Ⅱ	1後			2		3	1	1	1		9	
		生命科学のための生物学	1前			2							2	
		生命科学のための化学	1前			2							1	
		生命科学のための物理学	1後			2							1	
		小計(5科目)	－	－	0	10	0	7	2	2	1	0	18	
		共通 専 門 科 目	医学概論	1①	○	1			1	1				
	公衆衛生学		1後			2		1						
	生理学Ⅰ		1前	○		2		1						
	生理学Ⅱ		1後			2		1						
	解剖学		1前	○		2							1	
	栄養学		1前			2							1	
	病理学		1後	○		2							1	
	生化学		1後	○		2		1						
	医用工学概論		1前	○		2				1				
	生体物性工学		1後			2							1	
	医用材料工学		1後			2							1	
	微生物学		2前	○		2		1						
	免疫学		2前			2							1	
	薬理学		2前	○		2		1						
	再生医療移植学		2④			1		1						
	検査総合管理学		3後			2			1	1				
	臨床医学総論Ⅰ		3前	○		2		1						
	臨床医学総論Ⅱ		3後	○		2		1						
	臨床医学総論Ⅲ		4前			2		1						
	小計(19科目)		－	－	1	35	0	5	1	2	0	0	5	
	専 門 科 目	臨床検査学コース専門科目	臨床栄養学	3後			2							1
			生理検査学Ⅰ	2後	○		2		1					
			生理検査学Ⅱ	3前			2		1					
			医療安全管理学	3③	○		1			1				
			病理検査学Ⅰ	2前	○		2				1			
			病理検査学Ⅱ	2③			1				1			
			分子遺伝学	2前	○		2		1					
			生化学検査学	3前	○		2				1			
			一般検査寄生虫学	3前	○		2		1		1			
血液検査学Ⅰ			2前	○		2		1						
血液検査学Ⅱ			2③			1		1						
輸血検査学			2後	○		2			1					
病原微生物学			2後	○		2		1						
先端医学機器論			2前			2							1	
生理学実習			3後			2		2					2	
生理検査学実習			4前			2		1						
医療安全管理学実習			3④			1		1						
病理学実習			2後			2				1			1	
遺伝子検査学実習			2④			1		1					1	
生化学検査学実習			3④			1				1				
一般検査寄生虫学実習			3③			1		1		1			1	
血液検査学実習			2④			1		1					2	
輸血移植検査学実習			3①			1			1				1	
免疫検査学実習			3②			1			1				2	
微生物検査学実習			3前			2		1					1	
医用工学実習			3③			1		1	1				1	
医科学研究論			3①	○		1		2						
臨地実習Ⅰ			3通	○		2		5	2	1				
臨地実習Ⅱ			4通	○		2		5	2	1				
臨地実習Ⅲ		4通	○		12		5	2	1					
小計(30科目)		－	－	0	58	0	6	2	1	0	0	6		
臨床工学コース専門科目		基礎医学実習	1後	○		1		1		1	1			
		チーム医療概論	4②			1				1				
	電気工学Ⅰ	1前	○		2		1							
	電気工学Ⅱ	1後	○		2		1							
	電気工学演習	2前			1		1							
	電気・電子工学実験	2前			2				1					
	電子工学	2前	○		2		1							
	電子工学演習	2後			1		1							
	医用機械工学	2前			2							1		
システム工学	2後	○		2				1						

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 等 の 配 置 に 関 連 す る 他 の 教 員 （ 助 手 等 ）	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門教育科目	学部共通科目	生命科学概論Ⅰ	1前			2		4	1	1			9	
		生命科学概論Ⅱ	1後			2		3	1	1	1		9	
		生命科学のための生物学	1前			2							2	
		生命科学のための化学	1前			2							1	
		生命科学のための物理学	1後			2							1	
		小計(5科目)	－	－	0	10	0	7	2	2	1	0	18	
		共通専門科目	医学概論	1①	○	1			1	1				
	公衆衛生学		1後			2		1						
	生理学Ⅰ		1前	○		2		1						
	生理学Ⅱ		1後			2		1						
	解剖学		1前	○		2							1	
	栄養学		1前			2							1	
	病理学		1後	○		2							1	
	生化学		1後	○		2		1						
	医用工学概論		1前	○		2				1				
	生体物性工学		1後			2							1	
	医用材料工学		1後			2							1	
	微生物学		2前	○		2		1						
	免疫学		2前			2							1	
	薬理学		2前	○		2		1						
	再生医療移植学		2④			1		1						
	検査総合管理学		3後			2			1	1				
	臨床医学総論Ⅰ		3前	○		2		1						
	臨床医学総論Ⅱ		3後	○		2		1						
	臨床医学総論Ⅲ		4前			2		1						
	小計(19科目)		－	－	1	35	0	5	1	2	0	0	5	
	専門科目	臨床検査学コース専門科目	臨床栄養学	3後			2							1
			生理検査学Ⅰ	2後	○		2		1					
			生理検査学Ⅱ	3前			2		1					
			医療安全管理学	3③	○		1			1				
			病理検査学Ⅰ	2前	○		2				1			
			病理検査学Ⅱ	2③			1				1			
			分子遺伝学	2前	○		2		1					
			生化学検査学	3前	○		2				1			
			一般検査寄生虫学	3前	○		2		1		1			
			血液検査学Ⅰ	2前	○		2		1					
			血液検査学Ⅱ	2③			1		1					
			輸血検査学	2後	○		2			1				
			病原微生物学	2後	○		2		1					
			先端医学機器論	2前			2							1
			生理学実習	3後			2		2					2
生理検査学実習			4前			2		1						
医療安全管理学実習			3④			1		1						
病理学実習			2後			2				1			1	
遺伝子検査学実習			2④			1		1						
生化学検査学実習			3④			1				1				
一般検査寄生虫学実習			3③			1		1		1			1	
血液検査学実習			2④			1		1					1	
輸血移植検査学実習			3①			1			1				1	
免疫検査学実習			3②			1			1				2	
微生物検査学実習			3前			2		1					1	
医用工学実習			3③			1		1	1				1	
医科学研究論			3①	○		1		2						
臨地実習Ⅰ			3通	○		2		5	2	1				
臨地実習Ⅱ			4通	○		2		5	2	1				
臨地実習Ⅲ			4通	○		12		5	2	1				
小計(30科目)		－	－	0	58	0	5	2	1	0	0	6		
臨床工学コース専門科目		基礎医学実習	1後	○		1		1		1	1			
		チーム医療概論	4②			1				1				
		電気工学Ⅰ	1前	○		2		1						
	電気工学Ⅱ	1後	○		2		1							
	電気工学演習	2前			1		1			1				
	電気・電子工学実験	2前			2				1					
	電子工学	2前	○		2		1							
	電子工学演習	2後			1		1							
医用機械工学	2前			2							1			
システム工学	2後	○		2				1						

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 等 の 配 置 を 除 く （ 助 手 以 外 ）	
						必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育 科目	専門 科目	臨床 工 学 コ ー ス 専 門 科 目	計測工学	1後	○		2				1				
			医用機器学概論	2前	○		2				1				
			医用治療機器学	2後	○		2				1				
			医用治療機器学実習	3後		1		1		1	1				
			医用生体計測装置学	2後	○	2		1							
			医用生体計測装置学実習	3後		1		1		1	1				
			臨床支援技術学	3後	○	2		2		2					
			生体機能代行装置学Ⅰ	2前		4								1	
			生体機能代行装置学Ⅱ	2後		4								1	
			生体機能代行装置学Ⅲ	2後	○	2		1							
			生体機能代行装置学実習Ⅰ	3前		1					1	1		1	
			生体機能代行装置学実習Ⅱ	3後		1		1		1	1				
			生体機能代行装置学実習Ⅲ	3前		1		1		1	1				
			医療安全学	2前	○	2		1							
			医用機器安全管理学Ⅰ	2後		2		1							
			医用機器安全管理学Ⅱ	3前		2		1							
			医用機器安全管理学実習	3後		1		1		1	1				
			臨床医学総論Ⅳ	4前		2		1							
			臨床実習Ⅰ	4通	○	1		3			1	1			
			臨床実習Ⅱ	4通	○	1		3			1	1			
			臨床実習Ⅲ	4通	○	2		3			1	1			
			臨床実習Ⅳ	4通	○	2		3			1	1			
			臨床実習Ⅴ	4通	○	1		3			1	1			
			ME技術演習	2前		1		1							
			臨床工学演習Ⅰ	4前		1		1							
			臨床工学演習Ⅱ	4後		1		1							
			ゼミナールⅠ	3前	○	1		3			2	1			
			ゼミナールⅡ	3後	○	1		3			2	1			
			小計(38科目)				－	－	0	62	0	4	0	2	1
		特別 研究	特別研究	4前	○	2			8	2	3	1			
	小計(1科目)				－	－	2	0	0	8	2	3	1	0	0
合計(209科目)				－	－	9	370	0	8	2	3	1	0	206	
卒業要件及び履修方法															
1.卒業要件 基盤教育科目から必修科目6単位を含む26単位以上(外国語系科目から6単位以上を含む)を修得し、専門教育科目から必修科目3単位を含む76単位以上、合計124単位以上修得すること。 臨床検査学コースの学生は、「医科学研究論」「臨床実習Ⅰ」「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」を修得すること。 臨床工学コースの学生は、「臨床実習Ⅰ」「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」を修得すること。															
2.履修方法 (1)外国人留学生は、外国語系科目において母国語の科目を選択履修することはできない。外国人留学生は、日本語科目の単位の修得をもって、外国語系科目の卒業要件とする。 (2)「基礎英語」は英語力診断テストの結果により受講者を指定する。 (3)外国語系科目は次の科目の中から2単位を選択必修科目として修得すること。 「基礎英語」「基礎英会話」「学術英語(中級)」「学術英語(上級)」「Discussion」「Presentation」「Academic Writing」「CLIL」「検定英語(初級)」「検定英語(上級)」「英語で文化」「英語コミュニケーション」「初修外国語2」 (4)「基礎英語」「基礎英会話」は、原則として1年次生のみが受講できる。 (5)「基盤英語(初級)」「基盤英語(準中級)」「基盤英語(中級)」「基盤英語(上級)」の4科目8単位から、英語力診断テストの結果により指定された1科目2単位を選択必修科目として修得すること。「基礎英語」の履修を指定された者は、単位を修得しなければ「基盤英語」を履修することができない。 「基盤英語」は、原則として1年次秋学期に受講しなければならない。 2年次春学期開講は、1年次秋学期に修得した科目の一つ上のレベルを希望する学生対象である。(あるいは1年次秋学期に単位が修得できなかった再履修生対象である。) 指定された「基盤英語」の単位を修得した場合、以後、同じ又は一つ下のレベルの科目は受講できない。 受講した科目に合格しなかった場合、同じ又は一つ下のレベルの科目を受講できる。 (6)外国人留学生は「基盤日本語1」「基盤日本語2」の4単位を必修科目とし、「日本語読解作文」「日本語口語表現」より2単位を選択必修として修得すること。 (7)ブランド系科目は、6単位までを卒業に必要な総単位数、基盤教育科目単位数に算入することができる。 (8)「ワインプロジェクト実習1」を履修する者は、「ブドウ・ワイン概論」の単位を修得済みであり、「ブドウ栽培とワイン醸造学」を同時に履修している、又は単位を修得済みであること。 (9)「ワインプロジェクト実習2」を履修する者は、「ワインプロジェクト実習1」及び「ブドウ栽培とワイン醸造学」の単位を修得済みであること。 (10)「ワインプロジェクト実習3」を履修する者は、「ワインプロジェクト実習1」及び「発酵と微生物」の単位を修得済みであり、「ワインプロジェクト実習2」の単位を修得済み又は履修中であること。 (11)「ワインプロジェクト実習1」「ワインプロジェクト実習2」「ワインプロジェクト実習3」は、卒業・進級に必要な単位に含めることができない。 (12)「リーダーシップ研修A(国内)」「リーダーシップ研修B(海外)」「リーダーシップ実践A(国内)」「リーダーシップ実践C(海外)」の4科目は、外部研修のため、研修実施元が定員や参加条件を設定することがある。 (13)「リーダーシップ実践B(学内)」を履修する者は、「リーダーシップ論」「リーダーシップ・ゼミナール」のいずれかの単位を修得済みであること。 (14)「マナーマイスター・チャレンジ」「マナーマイスター・アドバンストA(海外)」又は「マナーマイスター・アドバンストB(国内)」を履修する者は、「マナーマイスター講座初級」又は「リーダーシップ・ゼミナール」のいずれかの単位を修得済みであること。															

科目 区分			授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 を 除 く （ 助 手 外 ）	
						必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育 科目	専門 科目	臨床 工 学 コ ー ス 専 門 科 目	計測工学	1後	○		2				1				
			医用機器学概論	2前	○		2				1				
			医用治療機器学	2後	○		2				1				
			医用治療機器学実習	3後			1		1		1	1			
			医用生体計測装置学	2後	○		2		1						
			医用生体計測装置学実習	3後			1		1		1	1			
			臨床支援技術学	3後	○		2		2		2				
			生体機能代行装置学Ⅰ	2前			4							1	
			生体機能代行装置学Ⅱ	2後			4							1	
			生体機能代行装置学Ⅲ	2後	○		2		1						
			生体機能代行装置学実習Ⅰ	3前			1				1	1		1	
			生体機能代行装置学実習Ⅱ	3後			1		1		1	1			
			生体機能代行装置学実習Ⅲ	3前			1		1		1	1			
			医療安全学	2前	○		2		1						
			医用機器安全管理学Ⅰ	2後			2		1						
			医用機器安全管理学Ⅱ	3前			2		1						
			医用機器安全管理学実習	3後			1		1		1	1			
			臨床医学総論Ⅳ	4前			2		1						
			臨床実習Ⅰ	4通	○		1		3		1	1			
			臨床実習Ⅱ	4通	○		1		3		1	1			
			臨床実習Ⅲ	4通	○		2		3		1	1			
			臨床実習Ⅳ	4通	○		2		3		1	1			
			臨床実習Ⅴ	4通	○		1		3		1	1			
			ME技術演習	2前			1		1						
			臨床工学演習Ⅰ	4前			1		1						
			臨床工学演習Ⅱ	4後			1		1						
			ゼミナールⅠ	3前	○		1		3		2	1			
			ゼミナールⅡ	3後	○		1		3		2	1			
			小計(38科目)				－	－	0	62	0	4	0	2	1
		特別 研究	特別研究	4前	○	2			8	2	3	1			
	小計(1科目)				－	－	2	0	0	8	2	3	1	0	0
合計(210科目)				－	－	9	372	0	8	2	3	1	0	225	
卒業要件及び履修方法															
1.卒業要件 基盤教育科目から必修科目6単位を含む26単位以上(外国語系科目から6単位以上を含む)を修得し、専門教育科目から必修科目3単位を含む76単位以上、合計124単位以上修得すること。 臨床検査学コースの学生は、「医科学研究論」「臨床実習Ⅰ」「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」を修得すること。 臨床工学コースの学生は、「臨床実習Ⅰ」「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」を修得すること。															
2.履修方法 (1)外国人留学生は、外国語系科目において母国語の科目を選択履修することはできない。外国人留学生は、日本語科目の単位の修得をもって、外国語系科目の卒業要件とする。 (2)「基礎英語」は英語力診断テストの結果により受講者を指定する。 (3)外国語系科目は次の科目の中から2単位を選択必修科目として修得すること。 「基礎英語」「基礎英会話」「学術英語(中級)」「学術英語(上級)」「Discussion」「Presentation」「Academic Writing」「CLIL」「検定英語(初級)」「検定英語(上級)」「英語で文化」「英語コミュニケーション」「初修外国語2」 (4)「基礎英語」「基礎英会話」は、原則として1年次生のみが受講できる。 (5)「基盤英語(初級)」「基盤英語(準中級)」「基盤英語(中級)」「基盤英語(上級)」の4科目8単位から、英語力診断テストの結果により指定された1科目2単位を選択必修科目として修得すること。「基礎英語」の履修を指定された者は、単位を修得しなければ「基盤英語」を履修することができない。 「基盤英語」は、原則として1年次秋学期に受講しなければならない。 2年次春学期開講は、1年次秋学期に修得した科目の一つ上のレベルを希望する学生対象である。(あるいは1年次秋学期に単位が修得できなかった再履修生対象である。) 指定された「基盤英語」の単位を修得した場合、以後、同じ又は一つ下のレベルの科目は受講できない。 受講した科目に合格しなかった場合、同じ又は一つ下のレベルの科目を受講できる。 (6)外国人留学生は「基盤日本語1」「基盤日本語2」の4単位を必修科目とし、「日本語読解作文」「日本語口語表現」より2単位を選択必修として修得すること。 (7)ブランド系科目は、6単位までを卒業に必要な総単位数、基盤教育科目単位数に算入することができる。 (8)「ワインプロジェクト実習1」を履修する者は、「ブドウ・ワイン概論」の単位を修得済みであり、「ブドウ栽培とワイン醸造学」を同時に履修している、又は単位を修得済みであること。 (9)「ワインプロジェクト実習2」を履修する者は、「ワインプロジェクト実習1」及び「ブドウ栽培とワイン醸造学」の単位を修得済みであること。 (10)「ワインプロジェクト実習3」を履修する者は、「ワインプロジェクト実習1」及び「発酵と微生物」の単位を修得済みであり、「ワインプロジェクト実習2」の単位を修得済み又は履修中であること。 (11)「ワインプロジェクト実習1」「ワインプロジェクト実習2」「ワインプロジェクト実習3」は、卒業・進級に必要な単位に含めることができない。 (12)「リーダーシップ研修A(国内)」「リーダーシップ研修B(海外)」「リーダーシップ実践A(国内)」「リーダーシップ実践C(海外)」の4科目は、外部研修のため、研修実施元が定員や参加条件を設定することがある。 (13)「リーダーシップ実践B(学内)」を履修する者は、「リーダーシップ論」「リーダーシップ・ゼミナール」のいずれかの単位を修得済みであること。 (14)「マナーマイスター・チャレンジ」「マナーマイスター・アドバンストA(海外)」又は「マナーマイスター・アドバンストB(国内)」を履修する者は、「マナーマイスター講座初級」又は「リーダーシップ・ゼミナール」のいずれかの単位を修得済みであること。															

(15)「生命科学概論Ⅰ」「生命科学概論Ⅱ」は、学部の内容を理解し修学の目標を立てるために必要な科目のため、全員履修とする。

(16)【特別研究の履修条件】
臨床検査学コースの学生は、「医科学研究論」を修得していなければ、「特別研究」を履修することができない。
臨床工学コースの学生は、「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」を修得していなければ、「特別研究」を履修することができない。

(17)【臨床検査学コースにおける「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」の履修条件】
「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」を履修しようとする者は、次のいずれかの基準を満たしていなければならない。

①3年次終了時点において、3年次までに開講される臨床検査技師国家試験受験資格取得に必要な科目44科目のうち、38科目以上修得していること。
②4年次以降において、「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」を除く、臨床検査技師国家試験受験資格取得に必要な科目47科目全て修得していること。

(18)【臨床工学コースにおける臨床実習の履修条件】
「臨床実習Ⅰ」「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」を履修しようとする者は、次の基準をすべて満たしていなければならない。

①「基礎医学実習」「医用治療機器学実習」「医用生体計測装置学実習」「生体機能代行装置学実習Ⅰ」「生体機能代行装置学実習Ⅱ」「生体機能代行装置学実習Ⅲ」「医用機器安全管理学実習」及び「ME技術演習」を修得していること。
②臨床工学技士国家試験受験資格に必要な科目(外国語、人文系等の基礎科目を含む)のうち91単位以上を修得していること。

(19)【他学科履修の条件】
同一名称科目を除く他学科や他学部の専門教育科目を履修することができ、取得した単位は卒業、進級に要する総単位数(卒業所要単位124単位)に含めることができる。ただし、上記取得単位は、自学科専門教育科目の所要単位数に含めることはできない。
※他学科において卒業所要単位数に含まれない科目は、自学科においても卒業所要単位数に含めることはできない。

(履修登録単位数の上限設定)
(1)【~~年~~間の履修登録単位数の上限を49単位とする。
(2)登録単位数の上限設定の対象となる授業科目は、基盤教育科目及び専門教育科目とする。
(3)前年度の卒業要件に含まれる科目の取得単位数が30単位以上、かつ前年度のGPA3.0以上の者に対しては、特別措置として年間57単位まで登録を認める。

(15)「生命科学概論Ⅰ」「生命科学概論Ⅱ」は、学部の内容を理解し修学の目標を立てるために必要な科目のため、全員履修とする。

(16)【特別研究の履修条件】
臨床検査学コースの学生は、「医科学研究論」を修得していなければ、「特別研究」を履修することができない。
臨床工学コースの学生は、「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」を修得していなければ、「特別研究」を履修することができない。

(17)【臨床検査学コースにおける「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」の履修条件】
「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」を履修しようとする者は、次のいずれかの基準を満たしていなければならない。

①3年次終了時点において、3年次までに開講される臨床検査技師国家試験受験資格取得に必要な科目44科目のうち、38科目以上修得していること。
②4年次以降において、「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」を除く、臨床検査技師国家試験受験資格取得に必要な科目47科目全て修得していること。

(18)【臨床工学コースにおける臨床実習の履修条件】
「臨床実習Ⅰ」「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」を履修しようとする者は、次の基準をすべて満たしていなければならない。

①「基礎医学実習」「医用治療機器学実習」「医用生体計測装置学実習」「生体機能代行装置学実習Ⅰ」「生体機能代行装置学実習Ⅱ」「生体機能代行装置学実習Ⅲ」「医用機器安全管理学実習」及び「ME技術演習」を修得していること。
②臨床工学技士国家試験受験資格に必要な科目(外国語、人文系等の基礎科目を含む)のうち91単位以上を修得していること。

(19)【他学科履修の条件】
同一名称科目を除く他学科や他学部の専門教育科目を履修することができ、取得した単位は卒業、進級に要する総単位数(卒業所要単位124単位)に含めることができる。ただし、上記取得単位は、自学科専門教育科目の所要単位数に含めることはできない。
※他学科において卒業所要単位数に含まれない科目は、自学科においても卒業所要単位数に含めることはできない。

(履修登録単位数の上限設定)
(1)【~~年~~間の履修登録単位数の上限を49単位とする。
(2)登録単位数の上限設定の対象となる授業科目は、基盤教育科目及び専門教育科目とする。
(3)前年度の卒業要件に含まれる科目の取得単位数が30単位以上、かつ前年度のGPA3.0以上の者に対しては、特別措置として年間57単位まで登録を認める。

【令和7年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					の基 幹 教 員 を 除 く (助 手 外)
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基 盤 教 育 科 目	ラ イ フ ・ キ ャ リ ア デ ザ イ ン 系 科 目	フレッシュマンセミナー	1前	○	2								5
		キャリアデザイン1	1後	○		1							4
		キャリアデザイン2	2通	○		1							6
		キャリアデザイン3	3通	○		1							7
		キャリアデザイン4	4通	○		1							5
		セルフ・アウェアネス	1前			2							4
		アサーティブ・コミュニケーション	1前			2							1
		ライフ・ビルディング	1前			2							6
		ファシリテーション演習	2前			2							5
		学びの基礎論1	1前			2							2
		学びの基礎論2	1後			2							2
		理解と表現	1前			2							6
		キャリア形成論	2前			2							3
		企業情報特論	2前			2							4
		インターンシップ入門	1後			1							4
		インターンシップA	3前			1							2
		インターンシップB	3前			2							2
		インターンシップC	3前			3							2
		社会・産業実習	3前			3							2
		産業課題研究演習	3通			2							2
		グローバル入門	2前			2							2
		グローバル実践	2後			1							2
		グローバル研修ⅠA	1前			1							1
		グローバル研修ⅠB	1前			1							1
		グローバル研修ⅠC	1前			1							1
		グローバル研修ⅡA	1前			2							1
		グローバル研修ⅡB	1前			2							1
		グローバル研修Ⅲ	1前			3							1
		フィットネス	1前			1							2
		アドベンチャースポーツ	1前			2							4
		ウインタースポーツ	1後			2							8
		スポーツスタディ	1前			1							7
		健康の科学	1前・後			2							8
		生涯スポーツ	1前・後			1							11
		小計(34科目)	—	—	2	56	0	0	0	0	0	0	56
	人 間 ・ 社 会 科 学 系 科 目	人間を読みとくA	1前・後			2							12
		人間を読みとくB	1前・後			2							5
		文化を読みとくA	1前・後			2							4
		文化を読みとくB	1前・後			2							10
		社会を読みとくA	1前・後			2							7
		社会を読みとくB	1前・後			2							23
		日本国憲法	1前・後			2							1
		関係法規	4①			1		1					
		小計(8科目)	—	—	0	15	0	1	0	0	0	0	54

科目区分		授業科目の名称	配当 年次	主要 授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の 基幹教員以外 を 除く (助手)
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基盤教育科目	科学技術系科目	データを読みとく	1後			2							8
		自然を読みとく	1前			2							22
		技術を読みとく	1後			2							22
		情報リテラシー	1前	○	2								1
		コンピュータ演習	1後			2							1
		情報科学概論	3②	○		1		1					
		情報処理工学	1前	○		2		1					
		基盤数学(微分積分1)	1前			2							6
		基盤数学(微分積分2)	1後			2							6
		基盤数学(線形代数)	1前			2							6
		基盤物理学1	1前			2							5
		基盤物理学2	1後			2							5
		基盤化学1	1前			2							3
		基盤化学2	1後			2							3
		基盤生物学1	1前			2							2
		基盤生物学2	1後			2							2
		基盤地学1	1前			2							3
		基盤地学2	1後			2							3
		基盤物理学実験	1前			2							12
		基盤化学実験	1前			2							8
		基盤生物学実験	2前			2							3
		基盤地学実験	2前			2							4
		小計(22科目)	—	—	2	41	0	1	0	0	0	0	64
	外国語系科目	英語科目	基礎英語	1前		2							4
			基盤英語(初級)	1後		2							2
			基盤英語(準中級)	1後・2前		2							4
			基盤英語(中級)	1後・2前		2							5
			基盤英語(上級)	1後・2前		2							1
			基礎英会話	1前		2							4
			学術英語(中級)	2前		2							1
			学術英語(上級)	2前		2							1
			Discussion	2後		2							1
			Presentation	2後		2							1
			Academic Writing	2後		2							1
			CLIL	3前		2							1
			検定英語(初級)	1前・後		2							4
			検定英語(上級)	1前・後		2							2
			英語で文化	1前・後		2							2
			英語コミュニケーション	2前		2							2
		小計(16科目)	—	—	0	32	0	0	0	0	0	0	19
		外国語初修科目	初修外国語1	1前・後		2							13
			初修外国語2	1後・2前		2							10
			小計(2科目)	—	—	2	2	0	0	0	0	0	13
		日本語科目	基盤日本語1	1前		2							2
			基盤日本語2	1後		2							2
			日本語読解作文	1前		2							1
			日本語口語表現	1前		2							1
			小計(4科目)	—	—	0	8	0	0	0	0	0	4
	ブランド系科目	IB教員養成プログラム	国際バカロレア概論	2前		2							3
			IB教育課程・方法論	2後		2							2
			IB教育評価論	3前		2							3
			DP数学	3後		2							1
			DP化学	3後		2							5
			DP教育実践研究1	4前		2							4
			DP教育実践研究2	4前		2							3
			小計(7科目)	—	—	0	14	0	0	0	0	0	8
		ワインプロジェクトプログラム	ブドウ・ワイン概論	1前		2							2
			ブドウ栽培とワイン醸造学	1後		2							1
			発酵と微生物	2前		2							1
			ワインプロジェクト実習1	1後		1							2
			ワインプロジェクト実習2	2前		1							2
			ワインプロジェクト実習3	3前		1							2
			小計(6科目)	—	—	0	9	0	0	0	0	0	2

科目区分			授業科目の名称	配当 年次	主要 授業 科目	単位数			基幹教員等の配置					の 基幹 教員 (助 手 外)
						必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基盤 教育科目	ブランド 系科目	科学ボランティア 養成プログラム	科学・工作ボランティア入門	1前			2							14
			科学ボランティア実践指導1	1後			2							14
			科学ボランティア実践指導2	2前			2							9
			科学ボランティア教材研究	1後			1							6
			科学ボランティア活動1	2後			1							6
			科学ボランティア活動2	3前			1							2
			小計(6科目)	－	－	0	9	0	0	0	0	0	0	20
		リーダーシップ プログラム	リーダーシップ論	1前			2							5
			リーダーシップ・ゼミナール	1後			2							5
			リーダーシップ研修A(国内)	1前			1							1
			リーダーシップ研修B(海外)	1後			2							1
			リーダーシップ実践A(国内)	2前			2							1
			リーダーシップ実践B(学内)	2後			2							4
			リーダーシップ実践C(海外)	2後			2							1
			小計(7科目)	－	－	0	13	0	0	0	0	0	0	7
		マナーマイスター プログラム	マナーマイスター講座初級	1後			2							6
			マナーマイスター・チャレンジ	2後			2							2
			マナーマイスター・アドバンストA(海外)	1後			2							3
			マナーマイスター・アドバンストB(国内)	2前			2							4
			小計(4科目)	－	－	0	8	0	0	0	0	0	0	7
専門 教育科目	学部 共通科目		生命科学概論Ⅰ	1前			2		4	1	1			9
			生命科学概論Ⅱ	1後			2		3	1	1	1		9
			生命科学のための生物学	1前			2							2
			生命科学のための化学	1前			2							1
			生命科学のための物理学	1後			2							1
			小計(5科目)	－	－	0	10	0	7	2	2	1	0	18
	共通 専門科目		医学概論	1①	○	1			1	1				
			公衆衛生学	1後			2		1					
			生理学Ⅰ	1前	○		2		1					
			生理学Ⅱ	1後			2		1					
			解剖学	1前	○		2							1
			栄養学	1前			2							1
			病理学	1後	○		2							1
			生化学	1後	○		2		1					
			医用工学概論	1前	○		2				1			
			生体物性工学	1後			2							1
			医用材料工学	1後			2							1
			微生物学	2前	○		2		1					
			免疫学	2前			2							1
			薬理学	2前	○		2		1					
			再生医療移植学	2④			1		1					
			検査総合管理学	3後			2			1	1			
			臨床医学総論Ⅰ	3前	○		2		1					
			臨床医学総論Ⅱ	3後	○		2		1					
			臨床医学総論Ⅲ	4前			2		1					
			小計(19科目)	－	－	1	35	0	5	1	2	0	0	5
	専門 科目	臨床検査学 コース 専門科目	臨床栄養学	3後			2							1
			生理検査学Ⅰ	2後	○		2		1					
			生理検査学Ⅱ	3前			2		1					
			医療安全管理学	3③	○		1			1				
			病理検査学Ⅰ	2前	○		2				1			
			病理検査学Ⅱ	2③			1				1			
			分子遺伝学	2前	○		2		1					
			生化学検査学	3前	○		2				1			
			一般検査寄生虫学	3前	○		2		1		1			
			血液検査学Ⅰ	2前	○		2		1					
			血液検査学Ⅱ	2③			1		1					
			輸血検査学	2後	○		2			1				
			病原微生物学	2後	○		2		1					
			先端医学機器論	2前			2							1
			生理学実習	3後			2		2					2
			生理検査学実習	4前			2		1					
			医療安全管理学実習	3④			1		1					
			病理学実習	2後			2				1			1
			遺伝子検査学実習	2④			1		1					1

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	主 要 授 業 科 目	単位数			基幹教員等の配置					基 幹 教 員 等 （ 助 手 外 を 除 く ）
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 教育 科目	臨床検査学 コース 専門科目	生化学検査学実習	3④			1				1			
		一般検査寄生虫学実習	3③			1		1		1			1
		血液検査学実習	2④			1		1					2
		輸血移植検査学実習	3①			1			1				1
		免疫検査学実習	3②			1			1				2
		微生物検査学実習	3前			2		1					1
		医用工学実習	3③			1		1	1				1
		医科学研究論	3①	○		1		2					
		臨地実習Ⅰ	3通	○		2		5	2	1			
		臨地実習Ⅱ	4通	○		2		5	2	1			
		臨地実習Ⅲ	4通	○		12		5	2	1			
		小計(30科目)	－	－	0	58	0	6	2	1	0	0	6
	臨床工学 コース 専門科目	基礎医学実習	1後	○		1		1		1	1		
		チーム医療概論	4②			1				1			
		電気工学Ⅰ	1前	○		2		1					
		電気工学Ⅱ	1後	○		2		1					
		電気工学演習	2前			1		1					
		電気・電子工学実験	2前			2				1			
		電子工学	2前	○		2		1					
		電子工学演習	2後			1		1					
		医用機械工学	2前			2							1
		システム工学	2後	○		2					1		
		計測工学	1後	○		2					1		
		医用機器学概論	2前	○		2					1		
		医用治療機器学	2後	○		2					1		
		医用治療機器学実習	3後			1		1		1	1		
		医用生体計測装置学	2後	○		2		1					
		医用生体計測装置学実習	3後			1		1		1	1		
		臨床支援技術学	3後	○		2		2		2			
		生体機能代行装置学Ⅰ	2前			4							1
		生体機能代行装置学Ⅱ	2後			4							1
		生体機能代行装置学Ⅲ	2後	○		2		1					
		生体機能代行装置学実習Ⅰ	3前			1					1	1	1
		生体機能代行装置学実習Ⅱ	3後			1		1		1	1		
		生体機能代行装置学実習Ⅲ	3前			1		1		1	1		
		医療安全学	2前	○		2		1					
		医用機器安全管理学Ⅰ	2後			2		1					
		医用機器安全管理学Ⅱ	3前			2		1					
		医用機器安全管理学実習	3後			1		1		1	1		
		臨床医学総論Ⅳ	4前			2		1					
		臨床実習Ⅰ	4通	○		1		3		1	1		
		臨床実習Ⅱ	4通	○		1		3		1	1		
		臨床実習Ⅲ	4通	○		2		3		1	1		
		臨床実習Ⅳ	4通	○		2		3		1	1		
		臨床実習Ⅴ	4通	○		1		3		1	1		
		ME技術演習	2前			1		1					
		臨床工学演習Ⅰ	4前			1		1					
		臨床工学演習Ⅱ	4後			1		1					
		ゼミナールⅠ	3前	○		1		3		2	1		
		ゼミナールⅡ	3後	○		1		3		2	1		
		小計(38科目)	－	－	0	62	0	4	0	2	1	0	3
	特別 研究	特別研究	4前	○	2			8	2	3	1		
		小計(1科目)	－	－	2	0	0	8	2	3	1	0	0
合計(209科目)			－	－	9	370	0	8	2	3	1	0	220
卒業要件及び履修方法													
1.卒業要件 基盤教育科目から必修科目6単位を含み26単位以上(外国語系科目から6単位以上を含む)を修得し、専門教育科目から必修科目3単位を含み76単位以上、合計124単位以上修得すること。 臨床検査学コースの学生は、「医科学研究論」「臨地実習Ⅰ」「臨地実習Ⅱ」「臨地実習Ⅲ」を修得すること。 臨床工学コースの学生は、「臨床実習Ⅰ」「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」を修得すること。													
2.履修方法 (1)外国人留学生は、外国語系科目において母国語の科目を選択履修することはできない。外国人留学生は、日本語科目の単位の修得をもって、外国語系科目の卒業要件とする。 (2)「基礎英語」は英語力診断テストの結果により受講者を指定する。 (3)外国語系科目は次の科目の中から2単位を選択必修科目として修得すること。 「基礎英語」「基礎英会話」「学術英語(中級)」「学術英語(上級)」「Discussion」「Presentation」「Academic Writing」「CLIL」「検定英語(初級)」「検定英語(上級)」「英語で文化」「英語コミュニケーション」「初修外国語2」 (4)「基礎英語」「基礎英会話」は、原則として1年次生のみが受講できる。													

(5)「基盤英語(初級)」 「基盤英語(準中級)」 「基盤英語(中級)」 「基盤英語(上級)」 の4科目8単位から、英語力診断テストの結果により指定された1科目2単位を選択必修科目として修得すること。「基礎英語」の履修を指定された者は、単位を修得しなければ「基盤英語」を履修することができない。「基盤英語」は、原則として1年次秋学期に受講しなければならない。

2年次春学期開講は、1年次秋学期に修得した科目の一つ上のレベルを希望する学生対象である。(あるいは1年次秋学期に単位が修得できなかった再履修生対象である。)

指定された「基盤英語」の単位を修得した場合、以後、同じ又は一つ下のレベルの科目は受講できない。

受講した科目に合格しなかった場合、同じ又は一つ下のレベルの科目を受講できる。

(6)外国人留学生は「基盤日本語1」「基盤日本語2」の4単位を必修科目とし、「日本語読解作文」「日本語口語表現」より2単位を選択必修として修得すること。

(7)ブランド系科目は、6単位までを卒業に必要な総単位数、基盤教育科目単位数に算入することができる。

(8)「ワインプロジェクト実習1」を履修する者は、「ブドウ・ワイン概論」の単位を修得済みであり、「ブドウ栽培とワイン醸造学」を同時に履修している、又は単位を修得済みであること。

(9)「ワインプロジェクト実習2」を履修する者は、「ワインプロジェクト実習1」及び「ブドウ栽培とワイン醸造学」の単位を修得済みであること。

(10)「ワインプロジェクト実習3」を履修する者は、「ワインプロジェクト実習1」及び「発酵と微生物」の単位を修得済みであり、「ワインプロジェクト実習2」の単位を修得済み又は履修中であること。

(11)「ワインプロジェクト実習1」「ワインプロジェクト実習2」「ワインプロジェクト実習3」は、卒業・進級に必要な単位に含めることができない。

(12)「リーダーシップ研修A(国内)」「リーダーシップ研修B(海外)」「リーダーシップ実践A(国内)」「リーダーシップ実践C(海外)」の4科目は、外部研修のため、研修実施元が定員や参加条件を設定することがある。

(13)「リーダーシップ実践B(学内)」を履修する者は、「リーダーシップ論」「リーダーシップ・ゼミナール」のいずれかの単位を修得済みであること。

(14)「マナーマイスター・チャレンジ」「マナーマイスター・アドバンストA(海外)」又は「マナーマイスター・アドバンストB(国内)」を履修する者は、「マナーマイスター講座初級」又は「リーダーシップ・ゼミナール」のいずれかの単位を修得済みであること。

(15)「生命科学概論Ⅰ」「生命科学概論Ⅱ」は、学部の内容を理解し修学の目標を立てるために必要な科目のため、全員履修とする。

(16)【特別研究の履修条件】

臨床検査学コースの学生は、「医科学研究論」を修得していなければ、「特別研究」を履修することができない。

臨床工学コースの学生は、「ゼミナールⅠ」「ゼミナールⅡ」を修得していなければ、「特別研究」を履修することができない。

(17)【臨床検査学コースにおける「臨地実習Ⅱ」「臨地実習Ⅲ」の履修条件】

「臨地実習Ⅱ」「臨地実習Ⅲ」を履修しようとする者は、次のいずれかの基準を満たしていなければならない。

①3年次終了時点において、3年次までに開講される臨床検査技師国家試験受験資格取得に必要な科目44科目のうち、38科目以上修得していること。

②4年次以降において、「臨地実習Ⅱ」「臨地実習Ⅲ」を除く、臨床検査技師国家試験受験資格取得に必要な科目47科目全て修得していること。

(18)【臨床工学コースにおける臨床実習の履修条件】

「臨床実習Ⅰ」「臨床実習Ⅱ」「臨床実習Ⅲ」「臨床実習Ⅳ」「臨床実習Ⅴ」を履修しようとする者は、次の基準をすべて満たしていなければならない。

①「基礎医学実習」「医用治療機器学実習」「医用生体計測装置学実習」「生体機能代行装置学実習Ⅰ」「生体機能代行装置学実習Ⅱ」「生体機能代行装置学実習Ⅲ」「医用機器安全管理学実習」及び「ME技術演習」を修得していること。

②臨床工学技士国家試験受験資格に必要な科目(外国語、人文系等の基礎科目を含む)のうち91単位以上を修得していること。

(19)【他学科履修の条件】

同一名称科目を除く他学科や他学部の専門教育科目を履修することができ、取得した単位は卒業、進級に要する総単位数(卒業所要単位124単位)に含めることができる。ただし、上記取得単位は、自学科専門教育科目の所要単位数に含めることはできない。

※他学科において卒業所要単位数に含まれない科目は、自学科においても卒業所要単位数に含めることはできない。

(履修登録単位数の上限設定)

(1)【年間の履修登録単位数の上限を49単位とする。

(2)登録単位数の上限設定の対象となる授業科目は、基盤教育科目及び専門教育科目とする。

(3)前年度の卒業要件に含まれる科目の取得単位数が30単位以上、かつ前年度のGPA3.0以上の者に対しては、特別措置として年間57単位まで登録を認める。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、**「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。**その上で、各年度については、「**基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)**」数は、認可時又は届出時の「**専任教員**」数との比較において変更となっている箇所、**「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)**」数は、認可時又は届出時の「**兼任・兼担**」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には【※】、「臨地実務実習」による授業科目には【臨】、「連携実務演習」による授業科目には【連】を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和8年度(新)】→【令和7年度(新)】→【令和6年度】→【令和5年度】→【令和8年度(旧)】→【令和7年度(旧)】

(1) ー②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「フレッシュマンセミナー」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「キャリアデザイン1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「キャリアデザイン2」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「キャリアデザイン3」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「セルフ・アウェアネス」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・担当教員が退職したため、「ファシリテーション演習」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「学びの基礎論1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「学びの基礎論2」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「企業情報特論」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「インターンシップ入門」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「産業課題研究演習」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「グローバル入門」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「アドベンチャースポーツ」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「ウインタースポーツ」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員9」から「基幹教員以外の教員8」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「スポーツスタディ」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「健康の科学」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員8」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「生涯スポーツ」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員11」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「人間を読みとくA」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員9」から「基幹教員以外の教員12」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「人間を読みとくB」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「文化を読みとくA」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員19」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「文化を読みとくB」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員18」から「基幹教員以外の教員10」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「社会を読みとくB」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員13」から「基幹教員以外の教員23」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「データを読みとく」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員7」から「基幹教員以外の教員8」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「技術を読みとく」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員20」から「基幹教員以外の教員22」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「基盤数学（微分積分1）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「基盤数学（微分積分2）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「基盤数学（線形代数）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「基盤化学実験」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員7」から「基幹教員以外の教員8」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「基盤英語（初級）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「基盤英語（準中級）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員9」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「基盤英語（中級）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「基盤英語（上級）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「基礎英会話」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「検定英語（初級）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「初修外国語1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員11」から「基幹教員以外の教員13」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「初修外国語2」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員7」から「基幹教員以外の教員10」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「基盤日本語1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「基盤日本語2」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。

- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「I B教育課程・方法論」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「D P化学」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「D P教育実践研究1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「科学・工作ボランティア入門」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員12」から「基幹教員以外の教員14」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「科学ボランティア実践指導1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員12」から「基幹教員以外の教員14」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「科学ボランティア教材研究」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員7」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「科学ボランティア活動1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ論」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員7」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ・ゼミナール」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員7」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ研修A（国内）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ研修B（海外）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ実践A（国内）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ実践B（学内）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ実践C（海外）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「マナーマイスター講座初級」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「マナーマイスター・チャレンジ」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「マナーマイスター・アドバンストB（国内）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員4」に変更。

【令和8年度】

- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「フレッシュマンセミナー」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「キャリアデザイン1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「キャリアデザイン2」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「キャリアデザイン3」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「キャリアデザイン4」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「セルフ・アウェアネス」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「ライフ・ビルディング」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「ファシリテーション演習」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「学びの基礎論1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「学びの基礎論2」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「企業情報特論」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「インターンシップ入門」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「インターンシップA」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「インターンシップB」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「インターンシップC」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員3」に変更。

- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「社会・産業実習」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「産業課題研究演習」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員3」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「グローバル入門」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・国際的に活躍できる人材の育成を目的として、ライフキャリアデザイン科目に「グローバルエリート入門」を追加、「基幹教員以外の教員」を2名配置。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「アドベンチャースポーツ」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「ウインタースポーツ」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員9」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「スポーツスタディ」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「健康の科学」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員5」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「生涯スポーツ」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員6」から「基幹教員以外の教員9」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「人間を読みとくA」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員9」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「人間を読みとくB」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「文化を読みとくA」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員19」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「文化を読みとくB」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員18」から「基幹教員以外の教員13」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「社会を読みとくA」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員7」から「基幹教員以外の教員17」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「社会を読みとくB」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員13」から「基幹教員以外の教員27」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「自然を読みとく」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員22」から「基幹教員以外の教員23」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「技術を読みとく」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員20」から「基幹教員以外の教員9」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「基盤数学（微分積分1）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「基盤数学（微分積分2）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「基盤数学（線形代数）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員4」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「基盤生物学1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「基盤生物学2」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「基盤化学実験」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員7」から「基幹教員以外の教員8」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「基盤英語（準中級）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員9」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「基盤英語（中級）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員7」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「検定英語（初級）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「検定英語（上級）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「基盤日本語1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「基盤日本語2」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「IB教育課程・方法論」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員2」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「DP化学」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員2」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「DP教育実践研究1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員3」から「基幹教員以外の教員4」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「科学・工作ボランティア入門」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員12」から「基幹教員以外の教員11」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「科学ボランティア実践指導1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員12」から「基幹教員以外の教員5」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「科学ボランティア実践指導2」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員9」から「基幹教員以外の教員6」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「科学ボランティア教材研究」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員7」から「基幹教員以外の教員1」に変更。
- ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「科学ボランティア活動1」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員8」から「基幹教員以外の教員1」に変更。

・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「科学ボランティア活動２」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員２」から「基幹教員以外の教員１」に変更。 ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ論」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員７」から「基幹教員以外の教員４」に変更。 ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ・ゼミナール」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員７」から「基幹教員以外の教員４」に変更。 ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ研修Ａ（国内）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員６」から「基幹教員以外の教員５」に変更。 ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ研修Ｂ（海外）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員６」から「基幹教員以外の教員５」に変更。 ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ実践Ａ（国内）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員６」から「基幹教員以外の教員５」に変更。 ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ実践Ｂ（学内）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員６」から「基幹教員以外の教員３」に変更。 ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、「リーダーシップ実践Ｃ（海外）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員２」から「基幹教員以外の教員５」に変更。 ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「マナーマイスター講座初級」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員５」から「基幹教員以外の教員３」に変更。 ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「マナーマイスター・チャレンジ」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員４」から「基幹教員以外の教員１」に変更。 ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「マナーマイスター・アドバンストＡ（海外）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員３」から「基幹教員以外の教員１」に変更。 ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「マナーマイスター・アドバンストＢ（国内）」の基幹教員数等の配置を「基幹教員以外の教員３」から「基幹教員以外の教員１」に変更。 ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「遺伝子検査学実習」の基幹教員数等の配置を「教授１、基幹教員以外の教員１」から「教授１」に変更。 ・クラス編成を見直し担当教員を調整した結果、「血液検査学実習」の基幹教員数等の配置を「教授１、基幹教員以外の教員２」から「教授１、基幹教員以外の教員１」に変更。
--

- (注)・ ２（１）-① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和４年10月１日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授１」から「基幹教員 教授１」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員１」から「基幹教員以外の教員１」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和７年度開設であれば令和６年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ１つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
5 科目	204 科目	0 科目	209 科目	5 科目 [0]	205 科目 [1]	0 科目 [0]	210 科目 [1]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1 科目減の場合：△ 1）

・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・配当年次に達しているに関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{209} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1)校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	借用期間及び面積 1年 60㎡ 3年 224㎡ 30年 14,731㎡ 60年 15,974㎡			
	校 舎 敷 地	308,543㎡	0㎡	0㎡	308,543㎡				
	そ の 他	649,229㎡	0㎡	0㎡	649,229㎡				
	合 計	957,772㎡	0㎡	0㎡	957,772㎡				
(2)校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		127,226㎡ (127,226㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	127,226㎡ (127,226㎡)				
(3)教室・教員研究室		教 室	658室	教員研究室	17室	大学全体			
(4)図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標本	図書の数については、教育研究の充実のため購入したためおよび電子図書の加算により増加。但し、洋書については、利用価値の低減した図書を除籍したため減少。学術雑誌の種数については、パッケージ契約追加により増加。(8) 機械・器具の数については、教育研究の充実のため教育研究の実施に伴う消耗品を購入したため。(8)	
		〔うち外国書〕冊	電子図書〔うち外国書〕	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				
	医療技術学科	6,700 [696] ~~6,594 [722]~~ (6,700 [696]) ~~(-6,594 [722])~~	521 [296] ~~506 [296]~~ (521 [296]) ~~(-506 [296])~~	34 [29] ~~31 [26]~~ (34 [29]) ~~(-31 [26])~~	30 [29] ~~27 [26]~~ (30 [29]) ~~(-27 [26])~~	299 ~~295~~ (299) ~~(-295)~~	0 (0)		
	計	6,700 [696] ~~6,594 [722]~~ (6,700 [696]) ~~(-6,594 [722])~~	521 [296] ~~506 [296]~~ (521 [296]) ~~(-506 [296])~~	34 [29] ~~31 [26]~~ (34 [29]) ~~(-31 [26])~~	30 [29] ~~27 [26]~~ (30 [29]) ~~(-27 [26])~~	299 ~~295~~ (299) ~~(-295)~~	0 (0)		
(5)スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体	
		1,209.64㎡		898.71㎡		3,972.48㎡			
(6)経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	○図書購入費には電子書籍、視聴覚資料を含む。学術雑誌の継続分を計上。 ○設備購入費：開設前年度に消耗品含む。
		教員 1 人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	5,700千円	5,700千円	5,700千円	
		共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	87,450千円	0千円	0千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,530千円	1,470千円	1,520千円	1,520千円	一千円	一千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料						

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）又は（その 1 の 3）に準じて作成してください。
- （複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（8）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において **赤字で見え消し**した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・ 国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	岡 山 理 科 大 学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	7	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AO期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考			
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度					
理学部	4	360	－	1455	－	0.73	－	－	昭和39	岡山県岡山市北区理大町1番1号				
応用数学科	4	110	－	440	学士 (理学)	0.64	－	－	昭和39	同上				
基礎理学科	4	90	－	360	学士 (理学)	0.56	－	－	昭和50	同上				
物理学科	4	45	－	180	学士 (理学)	0.76	－	－	昭和41	同上				
応用物理学科														
臨床工学専攻	4	－	－	－	学士 (理学)	－	－	－	平成14	同上	令和４年度入学生より学生募集停止			
化学科	4	70	－	295	学士 (理学)	0.51	－	－	昭和39	同上	令和８年度から入学定員変更（75→70）			
生物化学科	4	－	－	－	学士 (理学)	－	－	－	昭和63	同上	令和４年度入学生より学生募集停止			
動物学科	4	45	－	180	学士 (理学)	1.03	－	－	平成20	同上				
臨床生命科学科	4	－	－	－	学士 (理学)	－	－	－	平成16	同上	令和７年度入学生より学生募集停止			
工学部	4	365	3年次 5	1485	－	0.79	－	－	昭和61	同上				
機械システム工学科	4	90	－	360	学士 (工学)	0.78	－	－	昭和61	同上				
電気電子システム学科	4	70	－	280	学士 (工学)	0.56	－	－	昭和61	同上				
情報工学科	4	75	－	300	学士 (工学)	1.05	－	－	平成４	同上				
応用化学科	4	55	－	235	学士 (工学)	0.47	－	－	昭和61	同上	令和８年度から入学定員変更（60→55）			
知能機械工学科	4	－	－	－	学士 (工学)	－	－	－	平成17	同上	令和４年度入学生より学生募集停止			
建築学科	4	75	3年次 5	310	学士 (工学)	0.94	－	－	平成23	同上				
生命医療工学科	4	－	－	－	学士 (工学)	－	－	－	平成19	同上	令和７年度入学生より学生募集停止			
情報理工学部	4	210	－	840	－	0.82	－	－	令和４	同上				
情報理工学科	4	210	－	840	学士 (情報理工学)	0.82	－	－	令和４	同上				
総合情報学部	4	－	－	－	－	－	－	－	平成９	同上				
情報科学科	4	－	－	－	学士 (総合情報学)	－	－	－	平成９	同上	令和４年度入学生より学生募集停止			
社会情報学科	4	－	－	－	学士 (総合情報学)	－	－	－	平成９	同上	平成29年度入学生より学生募集停止			
生命科学部	4	235	－	800	－	0.78	－	－	令和４	同上				
生物科学科	4	165	－	660	学士 (生命科学)	0.79	－	－	令和４	同上				
医療技術学科	4	70	－	140	学士 (生命科学)	0.72	－	－	令和７	同上				
生物地球学部	4	165	－	610	－	1.08	－	－	平成24	同上				
生物地球学科	4	120	－	520	学士 (理学)	1.07	－	－	平成24	同上	令和７年度から入学定員変更（140→120）			
恐竜学科	4	45	－	90	学士 (理学)	1.17	－	－	令和7	同上				
教育学部	4	110	－	480	－	0.65	－	－	平成28	同上				
初等教育学科	4	60	－	260	学士 (教育学)	0.53	－	－	平成28	同上	令和７年度から入学定員変更（70→60）			
中等教育学科	4	50	－	220	学士 (教育学)	0.78	－	－	平成28	同上	令和７年度から入学定員変更（60→50）			

大 学 の 名 称		岡 山 理 科 大 学									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	7	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科の み)	開設 年度	所在地	備 考			
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		令和 8 年度から入学定員変更（60→70）			
経営学部	4	160	－	640	－	1.09	－	－	平成29	同上				
経営学科	4	160	－	640	学士 (経営学)	1.09	－	－	平成29	同上				
獣医学部（6年制）	6	140	－	840	－	1.10	－	－	平成30	愛媛県今治市 いこいの丘1番3				
獣医学部（4年制）	4	70	－	250	－	1.06	－	－	平成30	同上				
獣医学科	6	140	－	840	学士 (獣医学)	1.10	－	－	平成30	同上				
獣医保健看護学科	4	70	－	250	学士 (獣医保健看護学)	1.06	－	－	平成30	同上				
大学全体（通学制）	4	1815	3 年次 10	7400	－	－	－	－	－	－				
通信教育部										－				
情報理工学部	4	200	2 年次 10 3 年次 20	410	－	0.51	－	－	令和7	岡山県岡山市北 区理大町 1 番 1 号				
情報理工学科	4	200	2 年次 10 3 年次 20	410	学士 (情報理工学)	0.51	－	－	令和7	同上				
大学全体（通信制）	4	200	2 年次 10 3 年次 20	410	－	－	－	－						

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「－」とした上で、「非表示」設定としてください。
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
- ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
- ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和9年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を越える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
- ・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
- ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
- ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<生命科学部 医療技術学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	教授	小畑 秀明 ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅰ※ 電気工学Ⅰ 電気工学Ⅱ 医用治療機器学実習 医用生体計測装置学 医用生体計測装置学実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ME技術演習 臨床工学演習Ⅰ 臨床工学演習Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究
基	教授	片岡 健 ＜令和7年4月＞ 博士
		生命科学概論Ⅰ※ 医学概論 生化学 臨床医学総論Ⅱ 一般検査寄生虫学 血液検査学Ⅰ 血液検査学Ⅱ 再生医療移植学 一般検査寄生虫学実習 血液検査学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	教授	片山 誠一 ＜令和8年4月＞ 医学博士
		微生物学 病原微生物学 微生物検査学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究

【令和7年度】

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	教授	小畑 秀明 ＜令和7年4月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅰ※ 電気工学Ⅰ 電気工学Ⅱ 医用治療機器学実習 医用生体計測装置学 医用生体計測装置学実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ME技術演習 臨床工学演習Ⅰ 臨床工学演習Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究
基	教授	片岡 健 ＜令和7年4月＞ 博士
		生命科学概論Ⅰ※ 医学概論 生化学 臨床医学総論Ⅱ 一般検査寄生虫学 血液検査学Ⅰ 血液検査学Ⅱ 再生医療移植学 一般検査寄生虫学実習 血液検査学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	教授	片山 誠一 ＜令和8年4月＞ 医学博士
		微生物学 病原微生物学 微生物検査学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究

【令和8年度】

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	教授	小畑 秀明 ＜令和7年4月＞ 博士
		生命科学概論Ⅰ※ 電気工学Ⅰ 電気工学Ⅱ 医用治療機器学実習 医用生体計測装置学 医用生体計測装置学実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ME技術演習 臨床工学演習Ⅰ 臨床工学演習Ⅱ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究
基 （主 専）	教授	片岡 健 ＜令和7年4月＞ 博士（医学）
		生命科学概論Ⅰ※ 医学概論 生化学 臨床医学総論Ⅱ 一般検査寄生虫学 血液検査学Ⅰ 血液検査学Ⅱ 再生医療移植学 一般検査寄生虫学実習 血液検査学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	教授	片山 誠一 ＜令和8年4月＞ 医学博士
		微生物学 病原微生物学 微生物検査学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	教授	木場 崇剛 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（医学）
		生命科学概論Ⅱ※ 臨床医学総論Ⅰ 生理検査学Ⅰ 生理検査学Ⅱ 生理検査学実習 医療安全管理学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 臨床支援技術学※ 特別研究
基 （主 専）	教授	橋川 直也 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（保健学）
		生命科学概論Ⅱ※ 分子遺伝学 生理学実習 遺伝子検査学実習 医用工学実習 医科学研究論 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	教授	橋川 成美 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（薬学）
		生命科学概論Ⅰ※ 公衆衛生学 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 薬理学 生理学実習 医科学研究論 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	教授	堀 純也 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		関係法規 情報科学概論 情報処理工学 生命科学概論Ⅰ※ 基礎医学実習 電気工学演習 電子工学 電子工学演習 生体機能代行装置学実習Ⅱ 医療安全学 医用機器安全管理学Ⅰ 医用機器安全管理学Ⅱ 医用機器安全管理学実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	教授	木場 崇剛 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（医学）
		生命科学概論Ⅱ※ 臨床医学総論Ⅰ 生理検査学Ⅰ 生理検査学Ⅱ 生理検査学実習 医療安全管理学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 臨床支援技術学※ 特別研究
基 （主 専）	教授	橋川 直也 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（保健学）
		生命科学概論Ⅱ※ 分子遺伝学 生理学実習 遺伝子検査学実習 医用工学実習 医科学研究論 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	教授	橋川 成美 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（薬学）
		生命科学概論Ⅰ※ 公衆衛生学 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 薬理学 生理学実習 医科学研究論 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	教授	堀 純也 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		関係法規 情報科学概論 情報処理工学 生命科学概論Ⅰ※ 基礎医学実習 電気工学演習 電子工学 電子工学演習 生体機能代行装置学実習Ⅱ 医療安全学 医用機器安全管理学Ⅰ 医用機器安全管理学Ⅱ 医用機器安全管理学実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	教授	木場 崇剛 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（医学）
		生命科学概論Ⅱ※ 臨床医学総論Ⅰ 生理検査学Ⅰ 生理検査学Ⅱ 生理検査学実習 医療安全管理学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 臨床支援技術学※ 特別研究
基 （主 専）	教授	橋川 直也 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（保健学）
		生命科学概論Ⅱ※ 分子遺伝学 生理学実習 遺伝子検査学実習 医用工学実習 医科学研究論 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	教授	橋川 成美 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（薬学）
		生命科学概論Ⅰ※ 公衆衛生学 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 薬理学 生理学実習 医科学研究論 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	教授	堀 純也 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		関係法規 情報科学概論 情報処理工学 生命科学概論Ⅰ※ 基礎医学実習 電気工学演習 電子工学 電子工学演習 生体機能代行装置学実習Ⅱ 医療安全学 医用機器安全管理学Ⅰ 医用機器安全管理学Ⅱ 医用機器安全管理学実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	教授	松木 範明 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（歯学）
		生命科学概論Ⅱ※ 臨床医学総論Ⅲ 臨床支援技術学※ 生体機能代行装置学Ⅲ 生体機能代行装置学実習Ⅲ 臨床医学総論Ⅳ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究
基 （主 専）	准教授	逢坂 大樹 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（医学）
		生命科学概論Ⅱ※ 医学概論 検査総合管理学 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	准教授	松永 望 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（薬学）
		生命科学概論Ⅰ※ 医療安全管理学 輸血検査学 輸血移植検査学実習 免疫検査学実習 医用工学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	講師	浅原（石井）佳江 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅰ※ 基礎医学実習 チーム医療概論 医用治療機器学実習 医用生体計測装置学実習 臨床支援技術学※ 生体機能代行装置学実習Ⅰ 生体機能代行装置学実習Ⅱ 生体機能代行装置学実習Ⅲ 医用機器安全管理学実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	教授	松木 範明 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（歯学）
		生命科学概論Ⅱ※ 臨床医学総論Ⅲ 臨床支援技術学※ 生体機能代行装置学Ⅲ 生体機能代行装置学実習Ⅲ 臨床医学総論Ⅳ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究
基 （主 専）	准教授	逢坂 大樹 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（医学）
		生命科学概論Ⅱ※ 医学概論 検査総合管理学 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	准教授	松永 望 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（薬学）
		生命科学概論Ⅰ※ 医療安全管理学 輸血検査学 輸血移植検査学実習 免疫検査学実習 医用工学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	講師	浅原（石井）佳江 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅰ※ 基礎医学実習 チーム医療概論 医用治療機器学実習 医用生体計測装置学実習 臨床支援技術学※ 生体機能代行装置学実習Ⅰ 生体機能代行装置学実習Ⅱ 生体機能代行装置学実習Ⅲ 医用機器安全管理学実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	教授	松木 範明 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（歯学）
		生命科学概論Ⅱ※ 臨床医学総論Ⅲ 臨床支援技術学※ 生体機能代行装置学Ⅲ 生体機能代行装置学実習Ⅲ 臨床医学総論Ⅳ 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究
基 （主 専）	准教授	逢坂 大樹 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（医学）
		生命科学概論Ⅱ※ 医学概論 検査総合管理学 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	准教授	松永 望 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（薬学）
		生命科学概論Ⅰ※ 医療安全管理学 輸血検査学 輸血移植検査学実習 免疫検査学実習 医用工学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	講師	浅原（石井）佳江 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅰ※ 基礎医学実習 チーム医療概論 医用治療機器学実習 医用生体計測装置学実習 臨床支援技術学※ 生体機能代行装置学実習Ⅰ 生体機能代行装置学実習Ⅱ 生体機能代行装置学実習Ⅲ 医用機器安全管理学実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	講師	富安 聡 ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（工学）
		検査総合管理学 病理検査学Ⅰ 病理検査学Ⅱ 生化学検査学 一般検査寄生虫学 病理学実習 生化学検査学実習 一般検査寄生虫学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	講師	松宮 潔 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※ 医用工学概論 電気・電子工学実験 システム工学 計測工学 医用機器学概論 医用治療機器学 臨床支援技術学※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究
基 （主 専）	助教	竹本 和憲 ＜令和 7 年 9 月＞ 修士（医科学）
		生命科学概論Ⅱ※ 基礎医学実習 医用治療機器学実習 医用生体計測装置学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ 生体機能代行装置学実習Ⅱ 生体機能代行装置学実習Ⅲ 医用機器安全管理学実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究
その他	教授	青木 一勝 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 基盤地学 1 基盤地学 2 基盤地学実験
その他	教授	赤木 徹也 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	講師	富安 聡 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		検査総合管理学 病理検査学Ⅰ 病理検査学Ⅱ 生化学検査学 一般検査寄生虫学 病理学実習 生化学検査学実習 一般検査寄生虫学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	講師	松宮 潔 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※ 医用工学概論 電気・電子工学実験 システム工学 計測工学 医用機器学概論 医用治療機器学 臨床支援技術学※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究
基 （主 専）	助教	竹本 和憲 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（医科学）
		生命科学概論Ⅱ※ 基礎医学実習 医用治療機器学実習 医用生体計測装置学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ 生体機能代行装置学実習Ⅱ 生体機能代行装置学実習Ⅲ 医用機器安全管理学実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究
その他	教授	青木 一勝 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 基盤地学 1 基盤地学 2 基盤地学実験
その他	教授	赤木 徹也 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
基 （主 専）	講師	富安 聡 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		検査総合管理学 病理検査学Ⅰ 病理検査学Ⅱ 生化学検査学 一般検査寄生虫学 病理学実習 生化学検査学実習 一般検査寄生虫学実習 臨地実習Ⅰ 臨地実習Ⅱ 臨地実習Ⅲ 特別研究
基 （主 専）	講師	松宮 潔 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※ 医用工学概論 電気・電子工学実験 システム工学 計測工学 医用機器学概論 医用治療機器学 臨床支援技術学※ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究
基 （主 専）	助教	竹本 和憲 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※ 基礎医学実習 医用治療機器学実習 医用生体計測装置学実習 生体機能代行装置学実習Ⅰ 生体機能代行装置学実習Ⅱ 生体機能代行装置学実習Ⅲ 医用機器安全管理学実習 臨床実習Ⅰ 臨床実習Ⅱ 臨床実習Ⅲ 臨床実習Ⅳ 臨床実習Ⅴ ゼミナールⅠ ゼミナールⅡ 特別研究
その他	教授	青木 一勝 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		基盤地学 1 基盤地学 2 基盤地学実験
その他	教授	赤木 徹也 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	浅野 純一 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（文学）
		人間を読みとく A 初修外国語 1 初修外国語 2
その他	教授	石垣 忍 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 技術を読みとく
その他	教授	石田 弘樹 ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（工学）
		企業情報特論 産業課題研究演習
その他	教授	石田 美佐江 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		基礎英語 基盤英語（初級） 基盤英語（中級） 検定英語（初級）
その他	教授	石原 浩二 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※
その他	教授	大熊 一正 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		データを読みとく 自然を読みとく 技術を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2） 基盤数学（線形代数）
その他	教授	大橋 唯太 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく
その他	教授	大山 和紀 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	浅野 純一 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（文学）
		学びの基礎論 1 学びの基礎論 2
その他	教授	石田 弘樹 ＜令和 8 年 4 月＞ 博士（工学）
		キャリアデザイン 1 キャリアデザイン 2 キャリアデザイン 3 キャリアデザイン 4 企業情報特論 インターンシップ入門 インターンシップ A インターンシップ B インターンシップ C 社会・産業実習 産業課題研究演習
その他	教授	石田 美佐江 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		基礎英語 基盤英語（初級） 基盤英語（中級） 検定英語（初級）
その他	教授	大熊 一正 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		データを読みとく 自然を読みとく 技術を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2） 基盤数学（線形代数）
その他	教授	大橋 唯太 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく
その他	教授	大山 和紀 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	浅野 純一 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（文学）
		学びの基礎論 1 学びの基礎論 2
その他	教授	石田 美佐江 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		基礎英語 基盤英語（初級） 基盤英語（中級） 検定英語（初級）
その他	教授	大熊 一正 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		社会を読みとく B データを読みとく 自然を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2） 基盤数学（線形代数）
その他	教授	大山 和紀 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	押谷 潤 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		人間を読みとく B
その他	教授	笠 展幸 ＜令和 9 年 4 月＞ 博士（工学）
		インターンシップ A インターンシップ B インターンシップ C 社会・産業実習 産業課題研究演習
その他	教授	片山 謙吾 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B
その他	教授	金子 明裕 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理工学）
		ブドウ・ワイン概論※ 発酵と微生物 ワインプロジェクト実習 1 ワインプロジェクト実習 2 ワインプロジェクト実習 3
その他	教授	神吉 けい太 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		生命科学概論 I ※
その他	教授	衣笠 哲也 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		自然を読みとく 科学ボランティア活動 1
その他	教授	クルモフ バレリー トドロフ ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア活動 1
その他	教授	黒田 正博 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	片山 謙吾 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B
その他	教授	金子 明裕 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理工学）
		ブドウ・ワイン概論※ 発酵と微生物 ワインプロジェクト実習 1 ワインプロジェクト実習 2 ワインプロジェクト実習 3
その他	教授	神吉 けい太 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		生命科学概論 I ※
その他	教授	クルモフ バレリー トドロフ ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア活動 1
その他	教授	黒田 正博 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	片山 謙吾 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B
その他	教授	金子 明裕 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理工学）
		ブドウ・ワイン概論※ 発酵と微生物 ワインプロジェクト実習 1 ワインプロジェクト実習 2 ワインプロジェクト実習 3
その他	教授	神吉 けい太 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		生命科学概論 I ※
その他	講師	黒田 正博 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	河野 敏行 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		フレッシュマンセミナー キャリアデザイン 1 キャリアデザイン 2 キャリアデザイン 3 企業情報特論 インターンシップ A インターンシップ B インターンシップ C 社会・産業実習 産業課題研究演習 社会を読みとく B 技術を読みとく
その他	教授	榊原 道夫 ＜令和 7 年 9 月＞ 理学博士
		技術を読みとく
その他	教授	坂根 弦太 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		技術を読みとく 基盤化学 1 基盤化学 2 基盤化学実験
その他	教授	佐藤 文晴 ＜令和 9 年 4 月＞ 博士（工学）
		産業課題研究演習
その他	教授	實吉 玄貴 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		産業課題研究演習 人間を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	河野 敏行 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		フレッシュマンセミナー キャリアデザイン 1 キャリアデザイン 2 キャリアデザイン 3 企業情報特論 社会を読みとく B 技術を読みとく
その他	教授	榊原 道夫 ＜令和 7 年 9 月＞ 理学博士
		技術を読みとく
その他	教授	坂根 弦太 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		社会を読みとく B 技術を読みとく 基盤化学 1 基盤化学 2 基盤化学実験
その他	教授	佐藤 文晴 ＜令和 9 年 4 月＞ 博士（工学）
		<u>キャリアデザイン 1</u> <u>キャリアデザイン 2</u> <u>キャリアデザイン 3</u> <u>キャリアデザイン 4</u>

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	河野 敏行 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		フレッシュマンセミナー キャリアデザイン 1 キャリアデザイン 2 キャリアデザイン 3 企業情報特論 社会を読みとく B 技術を読みとく
その他	教授	榊原 道夫 ＜令和 7 年 9 月＞ 理学博士
		技術を読みとく
その他	教授	坂根 弦太 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		社会を読みとく B 自然を読みとく 基盤化学 1 基盤化学 2 基盤化学実験
その他	教授	佐藤 文晴 ＜令和 9 年 4 月＞ 博士（工学）
		<u>キャリアデザイン 1</u> <u>キャリアデザイン 2</u> <u>キャリアデザイン 3</u> <u>キャリアデザイン 4</u>

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	重松 利信 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		セルフ・アウェアネス ライフ・ビルディング ファシリテーション演習 文化を読みとく B 自然を読みとく 技術を読みとく 基盤物理学 1 基盤物理学 2 基盤物理学実験 科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア活動 1 リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール リーダーシップ研修 A（国内） リーダーシップ研修 B（海外） リーダーシップ実践 A（国内） リーダーシップ実践 B（学内） マナーマイスター・チャレンジ マナーマイスター・アドバンス ト A（海外） マナーマイスター・アドバンス ト B（国内）
その他	教授	島田 英之 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B
その他	教授	島田 恭宏 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学博士
		社会を読みとく B
その他	教授	杉山 正二 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（文学）
		基礎英語 基盤英語（初級） 基盤英語（準中級）
その他	教授	高原 周一 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 技術を読みとく 基盤化学 1 基盤化学 2 基盤化学実験 科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア教材研究 科学ボランティア活動 1 科学ボランティア活動 2
その他	教授	滝澤 昇 ＜令和 7 年 4 月＞ 工学博士
		技術を読みとく 科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア教材研究 科学ボランティア活動 1

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	重松 利信 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		ライフ・ビルディング ファシリテーション演習 文化を読みとく B 自然を読みとく 技術を読みとく 基盤物理学 1 基盤物理学 2 基盤物理学実験 科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア活動 1 マナーマイスター講座初級 マナーマイスター・チャレンジ マナーマイスター・アドバンス ト A（海外） マナーマイスター・アドバンス ト B（国内）
その他	教授	島田 英之 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B
その他	教授	島田 恭宏 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学博士
		社会を読みとく B
その他	教授	杉山 正二 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（文学）
		基礎英語 基盤英語（準中級）
その他	教授	高原 周一 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 技術を読みとく 基盤化学 1 基盤化学 2 基盤化学実験 科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア教材研究 科学ボランティア活動 1 科学ボランティア活動 2
その他	教授	滝澤 昇 ＜令和 7 年 4 月＞ 工学博士
		技術を読みとく 科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	重松 利信 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		ライフ・ビルディング ファシリテーション演習 文化を読みとく B 自然を読みとく 基盤物理学 1 基盤物理学 2 基盤物理学実験 マナーマイスター・チャレンジ マナーマイスター・アドバンス ト A（海外） マナーマイスター・アドバンス ト B（国内）
その他	教授	島田 英之 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B
その他	教授	島田 恭宏 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学博士
		社会を読みとく B
その他	教授	杉山 正二 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（文学）
		基礎英語 基盤英語（準中級）
その他	教授	高原 周一 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 技術を読みとく 基盤化学 1 基盤化学 2 基盤化学実験 科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア教材研究 科学ボランティア活動 1 科学ボランティア活動 2
その他	教授	滝澤 昇 ＜令和 7 年 4 月＞ 工学博士
		技術を読みとく 科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 2

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	竹崎 誠 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1
その他	教授	ダッタ シャミ ＜令和 8 年 4 月＞ Master of Arts
		グローバル入門 国際バカロレア概論 I B 教育課程・方法論 I B 教育評価論 D P 教育実践研究 1 D P 教育実践研究 2
その他	教授	辻 維周 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		理解と表現 社会を読みとく A
その他	教授	辻極 秀次 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（歯学）
		人間を読みとく B 自然を読みとく 解剖学 病理学
その他	教授	徳澤 啓一 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（歴史学）
		文化を読みとく B
その他	教授	富岡 直人 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		文化を読みとく B
その他	教授	豊田 新 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 基盤物理学 1 基盤物理学 2

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	竹崎 誠 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		科学ボランティア実践指導 1
その他	教授	ダッタ シャミ ＜令和 8 年 4 月＞ Master of Arts
		グローバル入門 国際バカロレア概論 I B 教育課程・方法論 I B 教育評価論 D P 化学 D P 教育実践研究 1 D P 教育実践研究 2
その他	教授	辻 維周 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		理解と表現 文化を読みとく A 社会を読みとく A
その他	教授	辻極 秀次 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（歯学）
		解剖学 病理学
その他	教授	豊田 新 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 基盤物理学 1 基盤物理学 2

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	竹崎 誠 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		科学ボランティア実践指導 1
その他	教授	ダッタ シャミ ＜令和 8 年 4 月＞ Master of Arts
		グローバル入門 国際バカロレア概論 I B 教育課程・方法論 I B 教育評価論 D P 化学 D P 教育実践研究 1 D P 教育実践研究 2
その他	教授	辻 維周 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		理解と表現 文化を読みとく A 社会を読みとく A
その他	教授	辻極 秀次 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（歯学）
		解剖学 病理学
その他	教授	徳澤 啓一 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（歴史学）
		文化を読みとく A 文化を読みとく B 社会を読みとく A
その他	教授	豊田 新 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 基盤物理学 1 基盤物理学 2 基盤物理学実験

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	内貴 猛 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		情報リテラシー コンピュータ演習 生命科学概論Ⅰ※ 生命科学のための物理学 医用機械工学
その他	教授	中川 恵友 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		技術を読みとく
その他	教授	中川 重和 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		データを読みとく 技術を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2）
その他	教授	中島 弘徳 ＜令和 7 年 9 月＞ 教育学修士
		技術を読みとく
その他	教授	中村 修 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（学術）
		技術を読みとく
その他	教授	西村 次郎 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学修士
		アドベンチャースポーツ ウィンタースポーツ スポーツスタディ 健康の科学 生涯スポーツ 社会を読みとく A
その他	教授	能美 洋介 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		人間を読みとく A 文化を読みとく B 自然を読みとく

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	内貴 猛 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		情報リテラシー コンピュータ演習 生命科学概論Ⅰ※ 生命科学のための物理学 医用機械工学
その他	教授	中川 恵友 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		技術を読みとく
その他	教授	中川 重和 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		社会を読みとく B データを読みとく 技術を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2）
その他	教授	中島 弘徳 ＜令和 7 年 9 月＞ 教育学修士
		技術を読みとく
その他	教授	
その他	教授	西村 次郎 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学修士
		スポーツスタディ 健康の科学 生涯スポーツ
その他	教授	能美 洋介 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		人間を読みとく A 文化を読みとく B 自然を読みとく

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	内貴 猛 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		情報リテラシー コンピュータ演習 生命科学概論Ⅰ※ 生命科学のための物理学 医用機械工学
その他	教授	
その他	教授	中川 重和 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		データを読みとく 技術を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2） 基盤数学（線形代数）
その他	教授	
その他	教授	
その他	教授	能美 洋介 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		文化を読みとく B 自然を読みとく

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	秦 敬治 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（教育学）
		セルフ・アウェアネス ライフ・ビルディング ファシリテーション演習 人間を読みとく A リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール リーダーシップ研修 A（国内） リーダーシップ研修 B（海外） リーダーシップ実践 A（国内） リーダーシップ実践 B（学内） リーダーシップ実践 C（海外） マナーマイスター・チャレンジ マナーマイスター・アドバンス ト A（海外） マナーマイスター・アドバンス ト B（国内）
その他	教授	畠山 唯達 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		文化を読みとく B 自然を読みとく
その他	教授	林 謙一郎 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（農学）
		生命科学概論Ⅱ※
その他	教授	原村 昌幸 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※
その他	教授	平田 豊 ＜令和 7 年 4 月＞ 高等学校卒
		フレッシュマンセミナー 社会を読みとく A 社会を読みとく B
その他	教授	藤本 真作 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B
その他	教授	前川 洋子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（外国語教育学）
		人間を読みとく B 基礎英語 基盤英語（初級） 基盤英語（中級） Discussion Presentation CLIL

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	秦 敬治 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（教育学）
		セルフ・アウェアネス ライフ・ビルディング 人間を読みとく A リーダーシップ研修 A（国内） リーダーシップ研修 B（海外） リーダーシップ実践 A（国内） マナーマイスター・アドバンス ト A（海外） マナーマイスター・アドバンス ト B（国内）
その他	教授	畠山 唯達 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく
その他	教授	林 謙一郎 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（農学）
		生命科学概論Ⅱ※
その他	教授	原村 昌幸 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※
その他	教授	平田 豊 ＜令和 7 年 4 月＞ 高等学校卒
		フレッシュマンセミナー 社会を読みとく A 社会を読みとく B
その他	教授	藤本 真作 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B
その他	教授	前川 洋子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（外国語教育学）
		基礎英語 基盤英語（中級） Discussion Presentation CLIL

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	秦 敬治 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（教育学）
		セルフ・アウェアネス ライフ・ビルディング リーダーシップ研修 A（国内） リーダーシップ研修 B（海外） リーダーシップ実践 A（国内） リーダーシップ実践 C（海外）
その他	教授	畠山 唯達 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく
その他	教授	林 謙一郎 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（農学）
		生命科学概論Ⅱ※
その他	教授	原村 昌幸 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※
その他	教授	平田 豊 ＜令和 7 年 4 月＞ 高等学校卒
		フレッシュマンセミナー 社会を読みとく A 社会を読みとく B
その他	教授	藤本 真作 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとく B
その他	教授	前川 洋子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（外国語教育学）
		基礎英語 基盤英語（中級） Discussion Presentation CLIL

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	牧 祥 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		データを読みとく
その他	教授	松浦 宏治 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※ 生体物性工学
その他	教授	松浦 信康 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（薬学）
		生命科学概論Ⅰ※
その他	教授	松村 博行 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（国際関係学）
		ファシリテーション演習 リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール リーダーシップ研修 A（国内） リーダーシップ研修 B（海外） リーダーシップ実践 A（国内） リーダーシップ実践 B（学内） リーダーシップ実践 C（海外）
その他	教授	三木 恒治 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		人間を読みとく A 初修外国語 1 初修外国語 2
その他	教授	三井 亮司 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（農学）
		生命科学概論Ⅰ※
その他	教授	矢城 陽一朗 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		自然を読みとく 基盤物理学 1 基盤物理学 2 基盤物理学実験
その他	教授	安田 貴徳 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（数理学）
		データを読みとく 自然を読みとく 技術を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2） 基盤数学（線形代数）

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	松浦 宏治 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※ 生体物性工学
その他	教授	松浦 信康 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（薬学）
		生命科学概論Ⅰ※
その他	教授	三木 恒治 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		人間を読みとく A 初修外国語 1 初修外国語 2
その他	教授	三井 亮司 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（農学）
		生命科学概論Ⅰ※
その他	教授	矢城 陽一朗 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		自然を読みとく 基盤物理学 1 基盤物理学 2 基盤物理学実験
その他	教授	安田 貴徳 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（数理学）
		データを読みとく 自然を読みとく 技術を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2） 基盤数学（線形代数）

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	松浦 宏治 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※ 生体物性工学
その他	教授	松浦 信康 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（薬学）
		生命科学概論Ⅰ※
その他	教授	三木 恒治 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		人間を読みとく A 初修外国語 1 初修外国語 2
その他	教授	三井 亮司 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（農学）
		生命科学概論Ⅰ※
その他	教授	矢城 陽一朗 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		自然を読みとく 基盤物理学 1 基盤物理学 2 基盤物理学実験
その他	教授	安田 貴徳 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（数理学）
		社会を読みとく B データを読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2） 基盤数学（線形代数）

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	山口 一裕 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		セルフ・アウェアネス ライフ・ビルディング 文化を読みとく B 自然を読みとく 技術を読みとく 基盤地学実験 科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア教材研究 科学ボランティア活動 1 科学ボランティア活動 2 マナーマイスター・チャレンジ マナーマイスター・アドバンス ト A（海外） マナーマイスター・アドバンス ト B（国内）
その他	教授	米田 稔 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア活動 1
その他	准教授	青木 宏之 ＜令和 7 年 4 月＞ 学術博士
		基盤化学 1 基盤化学 2 基盤化学実験
その他	准教授	稲垣 祐次 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		ライフ・ビルディング 基盤物理学 1 基盤物理学 2 基盤物理学実験
その他	准教授	今山 武志 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 基盤地学 1 基盤地学 2
その他	准教授	岩井 良輔 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		医用材料工学

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	山口 一裕 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		セルフ・アウェアネス ライフ・ビルディング 技術を読みとく 基盤地学実験 科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア教材研究 科学ボランティア活動 1 科学ボランティア活動 2 マナーマイスター講座初級 マナーマイスター・チャレンジ マナーマイスター・アドバンス ト A（海外） マナーマイスター・アドバンス ト B（国内）
その他	教授	米田 稔 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア活動 1
その他	准教授	青木 宏之 ＜令和 7 年 4 月＞ 学術博士
		基盤化学 1 基盤化学 2 基盤化学実験
その他	准教授	稲垣 祐次 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		ライフ・ビルディング 基盤物理学 1 基盤物理学 2 基盤物理学実験
その他	教授	今山 武志 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		基盤地学 1 基盤地学 2
その他	准教授	岩井 良輔 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		医用材料工学

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	
その他	教授	米田 稔 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		科学・工作ボランティア入門
その他	准教授	青木 宏之 ＜令和 7 年 4 月＞ 学術博士
		自然を読みとく 基盤化学 1 基盤化学 2 基盤化学実験
その他	准教授	稲垣 祐次 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		ライフ・ビルディング 基盤物理学 1 基盤物理学 2 基盤物理学実験
その他	教授	今山 武志 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		基盤地学 1 基盤地学 2
その他	准教授	岩井 良輔 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		医用材料工学

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	奥野 新太郎 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		初修外国語 1 初修外国語 2
その他	准教授	加瀬 遼一 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（理学）
		技術を読みとく
その他	准教授	川島 正行 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（理学）
		技術を読みとく
その他	准教授	河野 真二 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（医学）
		生命科学概論 I ※
その他	准教授	川俣 昌大 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（農学）
		ブドウ・ワイン概論※ ブドウ栽培とワイン醸造学 ワインプロジェクト実習 1 ワインプロジェクト実習 2 ワインプロジェクト実習 3
その他	准教授	窪木 厚人 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学博士
		生命科学概論 I ※
その他	准教授	佐藤 友彦 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 基盤地学 1 基盤地学 2 基盤地学実験
その他	准教授	佐藤 元治 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（法学）
		社会を読みとく A 日本国憲法
その他	准教授	ジェーン オハロラン ＜令和 7 年 4 月＞ 英文学修士
		基盤英語（上級） 英語で文化 英語コミュニケーション

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	奥野 新太郎 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		初修外国語 1 初修外国語 2
その他	准教授	加瀬 遼一 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（理学）
		技術を読みとく
その他	准教授	川島 正行 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（理学）
		技術を読みとく
その他	准教授	河野 真二 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（医学）
		生命科学概論 I ※
その他	准教授	川俣 昌大 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（農学）
		ブドウ・ワイン概論※ ブドウ栽培とワイン醸造学 ワインプロジェクト実習 1 ワインプロジェクト実習 2 ワインプロジェクト実習 3
その他	准教授	窪木 厚人 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学博士
		生命科学概論 I ※
その他	准教授	佐藤 友彦 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		基盤地学 1 基盤地学 2 基盤地学実験
その他	准教授	佐藤 元治 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（法学）
		社会を読みとく A 日本国憲法
その他	教授	ジェーン オハロラン ＜令和 7 年 4 月＞ 英文学修士
		基盤英語（上級） 英語で文化 英語コミュニケーション

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	川島 正行 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（理学）
		技術を読みとく
その他	准教授	河野 真二 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（医学）
		生命科学概論 I ※
その他	准教授	川俣 昌大 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（農学）
		ブドウ・ワイン概論※ ブドウ栽培とワイン醸造学 ワインプロジェクト実習 1 ワインプロジェクト実習 2 ワインプロジェクト実習 3
その他	准教授	窪木 厚人 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学博士
		生命科学概論 I ※
その他	准教授	佐藤 友彦 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		基盤地学 1 基盤地学 2 基盤地学実験 科学・工作ボランティア入門
その他	准教授	佐藤 元治 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（法学）
		社会を読みとく A 日本国憲法
その他	教授	ジェーン オハロラン ＜令和 7 年 4 月＞ 英文学修士
		基盤英語（上級） 英語で文化 英語コミュニケーション

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	田所 竜介 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（バイオサイエンス）
		生命科学概論Ⅰ※
その他	准教授	谷川 依津江 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（言語文化学）
		グローバル入門 グローバル実践 グローバル研修ⅠA グローバル研修ⅠB グローバル研修ⅠC グローバル研修ⅡA グローバル研修ⅡB グローバル研修Ⅲ 国際バカロレア概論 ⅠB教育課程・方法論 ⅠB教育評価論 DP化学 DP教育実践研究1 DP教育実践研究2
その他	准教授	趙 菲菲 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとくB
その他	准教授	デイビット ニール ＜令和 7 年 4 月＞ M. A
		基盤英語（上級） 基礎英会話
その他	准教授	東馬 哲雄 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		文化を読みとくB
その他	准教授	長尾 桂子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく
その他	准教授	那須 浩郎 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		文化を読みとくB 技術を読みとく 基盤生物学1 基盤生物学2 基盤生物学実験

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	田所 竜介 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（バイオサイエンス）
		生命科学概論Ⅰ※
その他	准教授	谷川 依津江 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（言語文化学）
		グローバル実践 グローバル研修ⅠA グローバル研修ⅠB グローバル研修ⅠC グローバル研修ⅡA グローバル研修ⅡB グローバル研修Ⅲ 基盤日本語1 基盤日本語2 ⅠB教育評価論 DP教育実践研究1 DP教育実践研究2
その他	准教授	趙 菲菲 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとくB
その他	准教授	デイビット ニール ＜令和 7 年 4 月＞ M. A
		基礎英会話
その他	准教授	東馬 哲雄 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		文化を読みとくB 自然を読みとく
その他	准教授	長尾 桂子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく
その他	准教授	那須 浩郎 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		技術を読みとく 基盤生物学1 基盤生物学2 基盤生物学実験

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	田所 竜介 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（バイオサイエンス）
		生命科学概論Ⅰ※
その他	准教授	谷川 依津江 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（言語文化学）
		グローバル実践 グローバル研修ⅠA グローバル研修ⅠB グローバル研修ⅠC グローバル研修ⅡA グローバル研修ⅡB グローバル研修Ⅲ 基盤日本語1 基盤日本語2 ⅠB教育評価論 DP教育実践研究1 DP教育実践研究2
その他	准教授	趙 菲菲 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		社会を読みとくB
その他	准教授	デイビット ニール ＜令和 7 年 4 月＞ M. A
		基盤英語（上級） 基礎英会話
その他	教授	東馬 哲雄 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		文化を読みとくB 自然を読みとく
その他	准教授	長尾 桂子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく
その他	准教授	那須 浩郎 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		基盤生物学1 基盤生物学2 基盤生物学実験

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	新原 隆史 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく
その他	准教授	濱田 隆宏 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（理学）
		生命科学概論Ⅱ※
その他	准教授	林 昭次 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく
その他	准教授	林 恒宏 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（創造都市）
		リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール
その他	准教授	藤木 利之 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（理学）
		企業情報特論 産業課題研究演習 技術を読みとく
その他	准教授	二見 翠 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※ 免疫学 免疫検査学実習
その他	准教授	松尾 美香 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		学びの基礎論 1 学びの基礎論 2 理解と表現 アドベンチャースポーツ ウインタースポーツ スポーツスタディ 健康の科学
その他	准教授	宮本 真二 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		文化を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	新原 隆史 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1
その他	准教授	濱田 隆宏 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（理学）
		生命科学概論Ⅱ※
その他	教授	林 恒宏 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（創造都市）
		リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール リーダーシップ実践 B（学内）
その他	准教授	藤木 利之 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（理学）
		キャリアデザイン 4 企業情報特論 インターンシップ A インターンシップ B インターンシップ C 社会・産業実習 産業課題研究演習 技術を読みとく
その他	准教授	二見 翠 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※ 免疫学 免疫検査学実習
その他	講師	松尾 美香 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		学びの基礎論 1 学びの基礎論 2

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	新原 隆史 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく
その他	准教授	濱田 隆宏 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（理学）
		生命科学概論Ⅱ※
その他	教授	林 恒宏 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（創造都市）
		リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール リーダーシップ実践 B（学内）
その他	准教授	二見 翠 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅱ※ 免疫学 免疫検査学実習

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	柳 貴久男 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（学術）
		データを読みとく
その他	准教授	横山 ひとみ ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（人間科学）
		ファシリテーション演習 人間を読みとく B リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール リーダーシップ研修 A（国内） リーダーシップ研修 B（海外） リーダーシップ実践 A（国内） リーダーシップ実践 B（学内）
その他	准教授	渡邊 誠 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく
その他	講師	猪口 雅彦 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 技術を読みとく 科学ボランティア活動 1
その他	講師	小野 舞子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		データを読みとく 技術を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2） 基盤数学（線形代数） マナーマイスター・チャレンジ
その他	講師	木村 光宏 ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（教育学）
		グローバル入門 グローバル実践 国際バカロレア概論 I B 教育課程・方法論 I B 教育評価論 D P 数学 D P 教育実践研究 1 D P 教育実践研究 2
その他	講師	志藤 あずさ ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		人間を読みとく A 自然を読みとく

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	柳 貴久男 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（学術）
		データを読みとく
その他	教授	横山 ひとみ ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（人間科学）
		ファシリテーション演習 リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール リーダーシップ実践 B（学内）
その他	准教授	渡邊 誠 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく
その他	講師	猪口 雅彦 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 技術を読みとく 科学ボランティア活動 1 生命科学概論 II ※
その他	准教授	小野 舞子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		データを読みとく 技術を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2） 基盤数学（線形代数）
その他	講師	木村 光宏 ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（教育学）
		グローバル入門 グローバル実践 国際バカロレア概論 I B 教育課程・方法論 I B 教育評価論 D P 数学 D P 化学 D P 教育実践研究 1 D P 教育実践研究 2
その他	講師	志藤 あずさ ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		人間を読みとく A 自然を読みとく

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	柳 貴久男 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（学術）
		データを読みとく
その他	教授	横山 ひとみ ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（人間科学）
		リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール リーダーシップ実践 B（学内）
その他	准教授	渡邊 誠 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく
その他	講師	猪口 雅彦 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく 技術を読みとく 生命科学概論 II ※
その他	講師	
その他	講師	木村 光宏 ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（教育学）
		グローバル入門 グローバル実践 国際バカロレア概論 I B 教育課程・方法論 I B 教育評価論 D P 数学 D P 化学 D P 教育実践研究 1 D P 教育実践研究 2
その他	准教授	志藤 あずさ ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		自然を読みとく

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	塚常 健太 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（人間科学）
		データを読みとく
その他	講師	綴木 馴 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		基盤物理学実験
その他	講師	長田 洋輔 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		生命科学概論Ⅱ※ 生命科学のための生物学※ 栄養学 臨床栄養学
その他	講師	西川 憲一 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		基礎英語 基盤英語（初級） 基盤英語（中級） Academic Writing 英語で文化
その他	講師	野間川内 一樹 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（工学）
		フレッシュマンセミナー キャリアデザイン2 キャリアデザイン3 セルフ・アウェアネス ライフ・ビルディング ファシリテーション演習 人間を読みとく A リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール リーダーシップ研修 A（国内） リーダーシップ研修 B（海外） リーダーシップ実践 A（国内） リーダーシップ実践 B（学内）
その他	講師	藤城 孝輔 ＜令和 7 年 4 月＞ PhD in Film Studies
		基盤英語（準中級） 検定英語（上級）
その他	講師	三阪 一徳 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（文学）
		文化を読みとく B
その他	講師	宮永 政光 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅰ※

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	塚常 健太 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（人間科学）
		データを読みとく
その他	講師	綴木 馴 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		基盤物理学実験
その他	講師	長田 洋輔 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		生命科学概論Ⅱ※ 生命科学のための生物学※ 栄養学 臨床栄養学
その他	講師	西川 憲一 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		基礎英語 基盤英語（初級） 基盤英語（中級） Academic Writing 英語で文化
その他	講師	野間川内 一樹 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（工学）
		フレッシュマンセミナー キャリアデザイン2 キャリアデザイン3 セルフ・アウェアネス ライフ・ビルディング ファシリテーション演習 人間を読みとく A リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール リーダーシップ研修 A（国内） リーダーシップ研修 B（海外） リーダーシップ実践 A（国内） リーダーシップ実践 B（学内）
その他	講師	藤城 孝輔 ＜令和 7 年 4 月＞ PhD in Film Studies
		基盤英語（準中級） 検定英語（上級）
その他	講師	三阪 一徳 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（文学）
		文化を読みとく B
その他	講師	宮永 政光 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅰ※

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	綴木 馴 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		基盤物理学実験
その他	准教授	長田 洋輔 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		生命科学概論Ⅱ※ 生命科学のための生物学※ 栄養学 臨床栄養学
その他	講師	西川 憲一 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		基礎英語 基盤英語（初級） 基盤英語（中級） 学術英語（上級） Academic Writing 英語で文化
その他	講師	野間川内 一樹 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（工学）
		フレッシュマンセミナー キャリアデザイン2 キャリアデザイン3 セルフ・アウェアネス ライフ・ビルディング リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール リーダーシップ実践 B（学内）
その他	講師	三阪 一徳 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（文学）
		文化を読みとく B
その他	講師	宮永 政光 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		生命科学概論Ⅰ※

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	村本 哲也 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学博士
		基盤物理学 1 基盤物理学 2 基盤物理学実験
その他	講師	山口 悟 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（理学）
		生命科学概論Ⅱ※ 先端医学機器論
その他	講師	青井 由佳 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（言語教育情報学）
		基盤日本語 2 日本語読解作文
その他	講師	青木 志津佳 ＜令和 7 年 9 月＞ 高等学校卒
		マナーマイスター講座初級
その他	講師	赤羽（杉山） 美鳥 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（文学）
		基盤英語（準中級） 基盤英語（中級）
その他	講師	新井 健之 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（学術）
		ウインタースポーツ
その他	講師	飯田 哲司 ＜令和 8 年 4 月＞ 商学士
		キャリア形成論
その他	講師	石井 成人 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		理解と表現 初修外国語 1
その他	講師	市井 直子 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学修士
		検定英語（上級）

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	村本 哲也 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学博士
		基盤物理学 1 基盤物理学 2 基盤物理学実験
その他	講師	山口 悟 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（理学）
		生命科学概論Ⅱ※ 先端医学機器論
その他	講師	青井 由佳 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（言語教育情報学）
		基盤日本語 2 日本語読解作文
その他	講師	青木 志津佳 ＜令和 7 年 9 月＞ 高等学校卒
		マナーマイスター講座初級
その他	講師	赤羽（杉山） 美鳥 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（文学）
		基盤英語（準中級）
その他	講師	新井 健之 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（学術）
		ウインタースポーツ
その他	講師	飯田 哲司 ＜令和 8 年 4 月＞ 商学士
		キャリア形成論
その他	講師	石井 成人 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		理解と表現 初修外国語 1
その他	講師	市井 直子 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学修士
		検定英語（上級）

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	村本 哲也 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学博士
		基盤物理学 1 基盤物理学 2 基盤物理学実験
その他	講師	山口 悟 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（理学）
		生命科学概論Ⅱ※ 先端医学機器論
その他	講師	青井 由佳 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（言語教育情報学）
		基盤日本語 2 日本語読解作文
その他	講師	
その他	講師	赤羽（杉山） 美鳥 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（文学）
		基盤英語（初級） 基盤英語（準中級）
その他	講師	新井 健之 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（学術）
		ウインタースポーツ
その他	講師	飯田 哲司 ＜令和 8 年 4 月＞ 商学士
		キャリア形成論
その他	講師	石井 成人 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		理解と表現 初修外国語 1
その他	講師	市井 直子 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学修士
		検定英語（上級）

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	糸山 嘉彦 ＜令和7年4月＞ 理学士
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導1 科学ボランティア実践指導2 科学ボランティア教材研究
その他	講師	井門 裕子 ＜令和7年9月＞ 専門学校卒
		マナーマイスター講座初級
その他	講師	井上 建吾 ＜令和7年4月＞ 学士（法学）
		社会を読みとくB
その他	講師	伊野家 伸一 ＜令和7年9月＞ 教育学修士
		基盤英語（準中級） 基盤英語（中級）
その他	講師	林 正黙 ＜令和7年4月＞ 音楽学修士
		初修外国語1
その他	講師	上仲 律子 ＜令和7年4月＞ 英語教育修士
		検定英語（初級）
その他	講師	内田 乃 ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		基盤物理学実験
その他	講師	江面 嗣人 ＜令和7年4月＞ 学術博士
		文化を読みとくB
その他	講師	大竹 みしず ＜令和7年9月＞ Master of Arts in Education
		基盤英語（初級） 基盤英語（準中級）

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	糸山 嘉彦 ＜令和7年4月＞ 理学士
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導1 科学ボランティア実践指導2 科学ボランティア教材研究
その他	講師	伊野家 伸一 ＜令和7年9月＞ 教育学修士
		基盤英語（中級）
その他	講師	林 正黙 ＜令和7年4月＞ 音楽学修士
		初修外国語1
その他	講師	上仲 律子 ＜令和7年4月＞ 英語教育修士
		検定英語（初級）
その他	講師	内田 乃 ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		基盤物理学実験
その他	講師	大竹 みしず ＜令和7年9月＞ Master of Arts in Education
		基盤英語（準中級）

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	糸山 嘉彦 ＜令和7年4月＞ 理学士
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導1 科学ボランティア実践指導2
その他	講師	伊野家 伸一 ＜令和7年9月＞ 教育学修士
		基盤英語（準中級） 基盤英語（中級）
その他	講師	林 正黙 ＜令和7年4月＞ 音楽学修士
		初修外国語1
その他	講師	上仲 律子 ＜令和7年4月＞ 英語教育修士
		基盤英語（準中級） 検定英語（初級）
その他	講師	内田 乃 ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		基盤物理学実験
その他	教授	江面 嗣人 ＜令和8年4月＞ 学術博士
		文化を読みとくB 自然を読みとく

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	太田 由佳 ＜令和 7 年 9 月＞ 修士（英語英米文学）
		基盤英語（準中級）
その他	講師	大西 弘昭 ＜令和 8 年 4 月＞ 学士（経済学）
		キャリア形成論
その他	講師	大野 浩恵 ＜令和 7 年 9 月＞ 修士（文学）
		基盤英語（準中級） 学術英語（上級）
その他	講師	奥山 広規 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（文学）
		文化を読みとく B
その他	講師	長田 千順 ＜令和 7 年 4 月＞ 体育準学士
		フィットネス
その他	講師	小田 真優子 ＜令和 9 年 9 月＞ 学士（理学）
		D P 化学
その他	講師	小畑 直也 ＜令和 8 年 4 月＞ 教職修士（専門職）
		基盤地学実験
その他	講師	梶原 美和 ＜令和 7 年 9 月＞ 高等学校卒
		マナーマイスター講座初級
その他	講師	華 信来 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		初修外国語 1
その他	講師	春日 二郎 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学士
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア教材研究

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	大西 弘昭 ＜令和 8 年 4 月＞ 学士（経済学）
		キャリア形成論
その他	講師	大野 浩恵 ＜令和 7 年 9 月＞ 修士（文学）
		学術英語（上級）
その他	講師	長田 千順 ＜令和 7 年 4 月＞ 体育準学士
		フィットネス
その他	講師	小田 真優子 ＜令和 9 年 9 月＞ 学士（理学）
		D P 化学
その他	講師	梶原 美和 ＜令和 7 年 9 月＞ 高等学校卒
		マナーマイスター講座初級 マナーマイスター・アドバンス ト B（国内）
その他	講師	華 信来 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		初修外国語 1
その他	講師	春日 二郎 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学士
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア教材研究

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	太田 由佳 ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（英語英米文学）
		基盤英語（初級） 基盤英語（準中級）
その他	講師	大西 弘昭 ＜令和 8 年 4 月＞ 学士（経済学）
		キャリア形成論
その他	講師	大野 浩恵 ＜令和 7 年 9 月＞ 修士（文学）
		基盤英語（初級） 学術英語（中級）
その他	講師	長田 千順 ＜令和 7 年 4 月＞ 体育準学士
		フィットネス
その他	講師	小田 真優子 ＜令和 9 年 9 月＞ 学士（理学）
		D P 化学
その他	講師	華 信来 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		初修外国語 1
その他	講師	春日 二郎 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学士
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 2

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	亀田 修一 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学博士
		文化を読みとく B
その他	講師	木庭 雅保 ＜令和 7 年 4 月＞ 学術修士
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1
その他	講師	木元 政嘉 ＜令和 9 年 4 月＞ 短期大学卒
		生体機能代行装置学実習 I
その他	講師	小坂 圭二 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		基盤物理学実験
その他	講師	児島 葉子 ＜令和 8 年 11 月＞ 学士（保健衛生学）
		血液検査学実習
その他	講師	小松原 貢 ＜令和 7 年 4 月＞ 地理学士
		社会を読みとく A
その他	講師	是近 成子 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		検定英語（初級）
その他	講師	齋藤 亜沙実 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（理学）
		基盤化学実験
その他	講師	斎藤 章一朗 ＜令和 7 年 4 月＞ 社会学士
		社会を読みとく A
その他	講師	齋藤 誠二 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（芸術工学）
		健康の科学
その他	講師	斎藤 尚志 ＜令和 7 年 9 月＞ 修士（社会福祉学）
		キャリアデザイン 4 インターンシップ入門

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	木庭 雅保 ＜令和 7 年 4 月＞ 学術修士
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1
その他	講師	木元 政嘉 ＜令和 9 年 4 月＞ 短期大学卒
		生体機能代行装置学実習 I
その他	講師	小坂 圭二 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		基盤物理学実験
その他	講師	児島 葉子 ＜令和 8 年 11 月＞ 学士（保健衛生学）
		血液検査学実習
その他	講師	小松原 貢 ＜令和 7 年 4 月＞ 地理学士
		社会を読みとく A
その他	講師	是近 成子 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		検定英語（初級）
その他	講師	齋藤 亜沙実 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（理学）
		基盤化学実験 基盤地学実験
その他	講師	斎藤 章一朗 ＜令和 7 年 4 月＞ 社会学士
		社会を読みとく A
その他	講師	齋藤 誠二 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（芸術工学）
		健康の科学
その他	講師	斎藤 尚志 ＜令和 7 年 9 月＞ 修士（社会福祉学）
		キャリアデザイン 4 インターンシップ入門

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	亀田 修一 ＜令和 8 年 4 月＞ 文学博士
		文化を読みとく A
その他	講師	木庭 雅保 ＜令和 7 年 4 月＞ 学術修士
		科学・工作ボランティア入門
その他	講師	木元 政嘉 ＜令和 9 年 4 月＞ 短期大学卒
		生体機能代行装置学実習 I
その他	講師	児島 葉子 ＜令和 8 年 11 月＞ 学士（保健衛生学）
		血液検査学実習
その他	講師	是近 成子 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		検定英語（初級）
その他	講師	齋藤 亜沙実 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（理学）
		基盤化学実験 基盤地学実験
その他	講師	齋藤 誠二 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（芸術工学）
		健康の科学

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	齋藤 智美 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		生涯スポーツ
その他	講師	坂口 浩一郎 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		基盤物理学実験
その他	講師	佐藤 美穂 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（言語教育）
		理解と表現 基盤日本語 1
その他	講師	支 洪濤 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		初修外国語 1
その他	講師	静 美保子 ＜令和 7 年 9 月＞ 高等学校卒
		マナーマイスター講座初級
その他	講師	春風亭 昇吉 ＜令和 7 年 4 月＞ 学士（経済学）
		人間を読みとく A
その他	講師	杉林 周陽 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（文学）
		理解と表現 人間を読みとく A
その他	講師	世良 利和 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（芸術学）
		キャリア形成論 文化を読みとく A 社会を読みとく B
その他	講師	武井 敬仁 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（理学）
		基盤物理学実験
その他	講師	高尾 晋悟 ＜令和 7 年 4 月＞ 専門学校卒
		文化を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	齋藤 智美 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		生涯スポーツ
その他	講師	坂口 浩一郎 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		基盤物理学実験
その他	講師	佐藤 美穂 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（言語教育）
		理解と表現 基盤日本語 1
その他	講師	支 洪濤 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	静 美保子 ＜令和 7 年 9 月＞ 高等学校卒
		マナーマイスター講座初級
その他	講師	春風亭 昇吉 ＜令和 7 年 4 月＞ 学士（経済学）
		人間を読みとく A
その他	講師	杉林 周陽 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（文学）
		理解と表現 人間を読みとく A
その他	講師	世良 利和 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（芸術学）
		キャリア形成論 文化を読みとく A 社会を読みとく B
その他	講師	高尾 晋悟 ＜令和 7 年 4 月＞ 専門学校卒
		文化を読みとく B 自然を読みとく

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	齋藤 智美 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（教育学）
		生涯スポーツ
その他	講師	坂口 浩一郎 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		基盤物理学実験
その他	講師	佐藤 美穂 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（言語教育）
		理解と表現 基盤日本語 1
その他	講師	静 美保子 ＜令和 7 年 9 月＞ 高等学校卒
		マナーマイスター講座初級
その他	講師	春風亭 昇吉 ＜令和 7 年 4 月＞ 学士（経済学）
		人間を読みとく A
その他	講師	杉林 周陽 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（文学）
		理解と表現 人間を読みとく A
その他	講師	世良 利和 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（芸術学）
		キャリア形成論 文化を読みとく A 社会を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	多田 章利 ＜令和 7 年 9 月＞ 工学士
		キャリアデザイン 1 キャリアデザイン 2 キャリアデザイン 3 インターンシップ入門
その他	講師	田中 淳 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学修士
		ウインタースポーツ 生涯スポーツ
その他	講師	玉木 俊治 ＜令和 9 年 9 月＞ 学士（理学）
		生理学実習
その他	講師	田村 裕史 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学士
		スポーツスタディ 健康の科学 生涯スポーツ
その他	講師	崔 ソヒョン ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（社会学）
		初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	千代 慧 ＜令和 7 年 4 月＞ 専門学校卒
		文化を読みとく B
その他	講師	土橋 恵美子 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（政策科学）
		社会を読みとく A
その他	講師	鉄川 大健 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（心理科学）
		人間を読みとく B
その他	講師	遠矢 英憲 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（体育学）
		アドベンチャースポーツ

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	多田 章利 ＜令和 7 年 9 月＞ 工学士
		キャリアデザイン 1 キャリアデザイン 2 キャリアデザイン 3 インターンシップ入門
その他	講師	田中 淳 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学修士
		ウインタースポーツ 生涯スポーツ
その他	講師	玉木 俊治 ＜令和 9 年 9 月＞ 学士（理学）
		生理学実習
その他	講師	田村 裕史 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学士
		スポーツスタディ 健康の科学 生涯スポーツ
その他	講師	崔 ソヒョン ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（社会学）
		初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	千代 慧 ＜令和 7 年 4 月＞ 専門学校卒
		文化を読みとく B 自然を読みとく
その他	講師	土橋 恵美子 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（政策科学）
		社会を読みとく A
その他	講師	鉄川 大健 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（心理科学）
		人間を読みとく B
その他	講師	遠矢 英憲 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（体育学）
		アドベンチャースポーツ

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	田中 淳 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学修士
		ウインタースポーツ 生涯スポーツ
その他	講師	玉木 俊治 ＜令和 9 年 9 月＞ 学士（理学）
		生理学実習
その他	講師	田村 裕史 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学士
		スポーツスタディ 健康の科学 生涯スポーツ
その他	講師	崔 ソヒョン ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（社会学）
		初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	千代 慧 ＜令和 7 年 4 月＞ 専門学校卒
		文化を読みとく B 自然を読みとく
その他	講師	鉄川 大健 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（心理科学）
		人間を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	仲道 雅輝 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		ウインタースポーツ スポーツスタディ
その他	講師	中山 智津子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（薬学）
		基盤化学実験
その他	講師	バーデン 京子 ＜令和 7 年 9 月＞ 教育学修士
		基盤英語（中級）
その他	講師	河 智弘 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（文学）
		初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	林 国人 ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（理学）
		生体機能代行装置学Ⅰ 生体機能代行装置学Ⅱ
その他	講師	林 玉美 ＜令和 7 年 9 月＞ 国際関係学修士
		基盤英語（準中級）
その他	講師	平野 裕子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（地域研究）
		文化を読みとく B
その他	講師	広瀬 由紀子 ＜令和 7 年 9 月＞ 英文学士・人類学士
		基盤英語（準中級） 学術英語（中級）
その他	講師	フィリップ ガジオン ＜令和 7 年 4 月＞ Bscイギリス
		基礎英会話
その他	講師	福田 謙吾 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		基盤物理学実験

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	仲道 雅輝 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		ウインタースポーツ
その他	講師	中山 智津子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（薬学）
		基盤化学実験
その他	講師	バーデン 京子 ＜令和 7 年 9 月＞ 教育学修士
		基礎英会話
その他	講師	河 智弘 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（文学）
		初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	林 国人 ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（理学）
		生体機能代行装置学Ⅰ 生体機能代行装置学Ⅱ
その他	講師	平野 裕子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（地域研究）
		文化を読みとく B
その他	講師	広瀬 由紀子 ＜令和 7 年 9 月＞ 英文学士・人類学士
		学術英語（中級）
その他	講師	フィリップ ガジオン ＜令和 7 年 4 月＞ Bscイギリス
		基礎英会話
その他	講師	福田 謙吾 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		基盤物理学実験

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	仲道 雅輝 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		ウインタースポーツ スポーツスタディ
その他	講師	中山 智津子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（薬学）
		基盤化学実験
その他	講師	バーデン 京子 ＜令和 7 年 9 月＞ 教育学修士
		基盤英語（中級）
その他	講師	林 国人 ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（理学）
		生体機能代行装置学Ⅰ 生体機能代行装置学Ⅱ
その他	講師	平野 裕子 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（地域研究）
		文化を読みとく B
その他	講師	フィリップ ガジオン ＜令和 7 年 4 月＞ Bscイギリス
		基礎英会話
その他	講師	福田 謙吾 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		基盤物理学実験

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	藤井 健平 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学士
		スポーツスタディ 生涯スポーツ
その他	講師	藤川 貴司 ＜令和 7 年 4 月＞ 学士（工学）
		スポーツスタディ
その他	講師	藤田 佳江 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		基盤物理学実験
その他	講師	藤野 薫 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		理解と表現 初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	藤丸 智雄 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（文学）
		人間を読みとく B
その他	講師	藤原 ゆう子 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学士
		日本語口語表現
その他	講師	宝来 毅 ＜令和 7 年 9 月＞ 修士（教育学）
		ウインタースポーツ
その他	講師	前田 なつ美 ＜令和 8 年 9 月＞ 修士（保健学）
		生理学実習 病理学実習 遺伝子検査学実習 一般検査寄生虫学実習 血液検査学実習 輸血移植検査学実習 免疫検査学実習 微生物検査学実習 医用工学実習
その他	講師	正木 智美 ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（理学）
		基盤生物学実験
その他	講師	松浦 美晴 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		人間を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	藤井 健平 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学士
		スポーツスタディ 生涯スポーツ
その他	講師	藤川 貴司 ＜令和 7 年 4 月＞ 学士（工学）
		スポーツスタディ
その他	講師	藤田 佳江 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		基盤物理学実験
その他	講師	藤野 薫 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		理解と表現 初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	藤丸 智雄 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（文学）
		人間を読みとく B
その他	講師	藤原 ゆう子 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学士
		日本語口語表現
その他	講師	前田 なつ美 ＜令和 8 年 9 月＞ 修士（保健学）
		生理学実習 病理学実習 遺伝子検査学実習 一般検査寄生虫学実習 血液検査学実習 輸血移植検査学実習 免疫検査学実習 微生物検査学実習 医用工学実習
その他	講師	正木 智美 ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（理学）
		基盤生物学実験
その他	講師	松浦 美晴 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		人間を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	藤井 健平 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学士
		スポーツスタディ 生涯スポーツ
その他	講師	藤田 佳江 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		基盤物理学実験
その他	講師	藤野 薫 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学修士
		理解と表現 初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	藤丸 智雄 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（文学）
		人間を読みとく B
その他	講師	藤原 ゆう子 ＜令和 7 年 4 月＞ 文学士
		日本語口語表現
その他	講師	前田 なつ美 ＜令和 8 年 9 月＞ 修士（保健学）
		生理学実習 病理学実習 一般検査寄生虫学実習 輸血移植検査学実習 免疫検査学実習 微生物検査学実習 医用工学実習
その他	講師	正木 智美 ＜令和 8 年 4 月＞ 修士（理学）
		基盤生物学実験
その他	講師	松浦 美晴 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		人間を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	松岡 由美子 ＜令和 7 年 9 月＞ 文学修士
		基盤英語（中級）
その他	講師	松島 康 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		基盤物理学実験
その他	講師	松田 周司 ＜令和 7 年 9 月＞ 修士（経営学）
		キャリアデザイン 4 インターンシップ入門
その他	講師	松原 明子 ＜令和 7 年 9 月＞ 高等学校卒
		マナーマイスター講座初級
その他	講師	三木 淳男 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学士
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア教材研究
その他	講師	宮下 竣吉 ＜令和 7 年 4 月＞ 社会科学士
		文化を読みとく B
その他	講師	村上 肇 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学士
		スポーツスタディ
その他	講師	望月 雅光 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（情報工学）
		アドベンチャースポーツ
その他	講師	森元 亜紀子 ＜令和 7 年 9 月＞ 修士（学術）
		基盤英語（中級）
その他	講師	森 義裕 ＜令和 7 年 4 月＞ 農学博士
		基盤化学実験

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	松岡 由美子 ＜令和 7 年 9 月＞ 文学修士
		基盤英語（中級） 検定英語（初級）
その他	講師	松島 康 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		基盤物理学実験
その他	講師	松田 周司 ＜令和 7 年 9 月＞ 修士（経営学）
		キャリアデザイン 4 インターンシップ入門
その他	講師	三木 淳男 ＜令和 7 年 4 月＞ 教育学士
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア教材研究
その他	講師	宮下 竣吉 ＜令和 7 年 4 月＞ 社会科学士
		文化を読みとく B 自然を読みとく
その他	講師	望月 雅光 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（情報工学）
		アドベンチャースポーツ
その他	講師	森 義裕 ＜令和 7 年 4 月＞ 農学博士
		基盤化学実験

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	松岡 由美子 ＜令和 7 年 9 月＞ 文学修士
		基盤英語（中級） 検定英語（初級）
その他	講師	松島 康 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		基盤物理学実験
その他	講師	松田 周司 ＜令和 7 年 9 月＞ 修士（経営学）
		キャリアデザイン 4 インターンシップ入門
その他	講師	宮下 竣吉 ＜令和 7 年 4 月＞ 社会科学士
		文化を読みとく B 自然を読みとく
その他	講師	森 義裕 ＜令和 7 年 4 月＞ 農学博士
		基盤化学実験

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	柳原 章子 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（工学）
		基盤化学実験
その他	講師	山内 武巳 ＜令和 7 年 9 月＞ 博士（体育学）
		ウインタースポーツ
その他	講師	山咲 博昭 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（大学アドミニストレー ション）
		セルフ・アウェアネス
その他	講師	山下 賢二 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（経済学）
		社会を読みとく B
その他	講師	湯川 治敏 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（体育科学）
		アドベンチャースポーツ ウインタースポーツ
その他	講師	吉木 オ三 ＜令和 7 年 4 月＞ 人文学士
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア教材研究
その他	講師	吉野 雄二 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学博士
		基盤数学（線形代数）
その他	講師	柳 枝青 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学修士
		初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	渡邊 守 ＜令和 7 年 4 月＞ 専門学校卒
		文化を読みとく B

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	柳原 章子 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（工学）
		基盤化学実験
その他	講師	山咲 博昭 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（大学アドミニストレー ション）
		セルフ・アウェアネス ライフ・ビルディング
その他	講師	山下 賢二 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（経済学）
		社会を読みとく B
その他	講師	湯川 治敏 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（体育科学）
		アドベンチャースポーツ ウインタースポーツ
その他	講師	吉木 オ三 ＜令和 7 年 4 月＞ 人文学士
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2 科学ボランティア教材研究
その他	講師	吉野 雄二 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学博士
		基盤数学（線形代数）
その他	講師	柳 枝青 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学修士
		初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	渡邊 守 ＜令和 7 年 4 月＞ 専門学校卒
		文化を読みとく B 自然を読みとく

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	講師	柳原 章子 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（工学）
		基盤化学実験
その他	講師	山下 賢二 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（経済学）
		社会を読みとく B
その他	講師	湯川 治敏 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（体育科学）
		ウインタースポーツ スポーツスタディ
その他	講師	吉木 オ三 ＜令和 7 年 4 月＞ 人文学士
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 2
その他	講師	柳 枝青 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学修士
		初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	渡邊 守 ＜令和 7 年 4 月＞ 専門学校卒
		文化を読みとく B 自然を読みとく

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	助教	河合 史菜 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（体育学）
		フィットネス アドベンチャースポーツ ウインタースポーツ スポーツスタディ 健康の科学 生涯スポーツ
その他	助教	黒木 出 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		基盤生物学 1 基盤生物学 2 基盤生物学実験
その他	助教	中山 紘之 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		フレッシュマンセミナー キャリアデザイン 2 キャリアデザイン 3 アサーティブ・コミュニケー ション ライフ・ビルディング ファシリテーション演習 人間を読みとく A リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール リーダーシップ研修 A（国内） リーダーシップ研修 B（海外） リーダーシップ実践 A（国内） リーダーシップ実践 B（学内）
その他	助教	ジェイソン ベイデンメン ＜令和 7 年 4 月＞ Master of Arts in English
		基盤英語（上級） 基礎英会話 英語コミュニケーション
その他	助教	森田 理日斗 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		生命科学概論Ⅰ※ 生命科学のための生物学※
その他	助教	矢野 嵩典 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（バイオサイエンス）
		生命科学概論Ⅱ※ 生命科学のための化学

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	助教	河合 史菜 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（体育学）
		健康の科学 生涯スポーツ
その他	助教	黒木 出 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		基盤生物学 1 基盤生物学 2 基盤生物学実験
その他	助教	中山 紘之 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		フレッシュマンセミナー キャリアデザイン 2 キャリアデザイン 3 アサーティブ・コミュニケー ション ファシリテーション演習 人間を読みとく A リーダーシップ論 リーダーシップ・ゼミナール リーダーシップ実践 B（学内）
その他	助教	ジェイソン ベイデンメン ＜令和 7 年 4 月＞ Master of Arts in English
		基礎英会話 英語コミュニケーション
その他	講師	森田 理日斗 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		生命科学概論Ⅰ※ 生命科学のための生物学※
その他	助教	矢野 嵩典 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（バイオサイエンス）
		生命科学概論Ⅱ※ 生命科学のための化学

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	助教	河合 史菜 ＜令和 7 年 4 月＞ 修士（体育学）
		フィットネス 健康の科学 生涯スポーツ
その他	助教	黒木 出 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（学術）
		基盤生物学実験
その他	助教	
その他	助教	ジェイソン ベイデンメン ＜令和 7 年 4 月＞ Master of Arts in English
		基盤英語（上級） 基礎英会話 英語コミュニケーション
その他	講師	森田 理日斗 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		生命科学概論Ⅰ※ 生命科学のための生物学※
その他	助教	矢野 嵩典 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（バイオサイエンス）
		生命科学概論Ⅱ※ 生命科学のための化学

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	坂本 直史 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学士
		キャリアデザイン 3 企業情報特論
その他	教授	堀越 亮 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		社会を読みとく B 基盤化学実験
その他	准教授	上嶋 明 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1
その他	准教授	奥村 英則 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		データを読みとく 技術を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2） 基盤数学（線形代数）
その他	准教授	林 美帆 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（文学）
		理解と表現 人間を読みとく A 人間を読みとく B 文化を読みとく A 社会を読みとく B 技術を読みとく
その他	准教授	平松 直哉 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		データを読みとく 技術を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2） 基盤数学（線形代数）

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	教授	坂本 直史 ＜令和 7 年 4 月＞ 理学士
		キャリアデザイン 3 企業情報特論 グローバルエリート入門 リーダーシップ研修 A（国内） リーダーシップ研修 B（海外） リーダーシップ実践 A（国内） リーダーシップ実践 C（海外）
その他	教授	堀越 亮 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		社会を読みとく B 自然を読みとく 基盤化学実験
その他	准教授	上嶋 明 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（工学）
		科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1
その他	准教授	奥村 英則 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		データを読みとく 技術を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2） 基盤数学（線形代数）
その他	准教授	林 美帆 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（文学）
		理解と表現 人間を読みとく A 人間を読みとく B 文化を読みとく A 社会を読みとく A 社会を読みとく B
その他	准教授	平松 直哉 ＜令和 7 年 4 月＞ 博士（理学）
		データを読みとく 技術を読みとく 基盤数学（微分積分 1） 基盤数学（微分積分 2） 基盤数学（線形代数）

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	山下 浩之 ＜令和7年4月＞ 博士（学校教育学）
		自然を読みとく
その他	准教授	楊 靈琳 ＜令和7年4月＞ 博士（言語文化）
		人間を読みとく A 初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	朝井 貴裕 ＜令和7年4月＞ 理学士
		技術を読みとく
その他	講師	池長 志紋 ＜令和7年4月＞ 修士（理学）
		基盤物理学実験
その他	講師	石原 勇次郎 ＜令和7年4月＞ 博士（芸術工学）
		フレッシュマンセミナー アドベンチャースポーツ ウィンタースポーツ スポーツスタディ 健康の科学 生涯スポーツ
その他	講師	入江 祐加 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		人間を読みとく A 初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	大川 稔和 ＜令和7年4月＞ 修士（人文学）
		D P 教育実践研究 1
その他	講師	栢野 祐介 ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		D P 化学
その他	講師	久保田 秀明 ＜令和7年4月＞ 体育学修士
		スポーツスタディ

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	山下 浩之 ＜令和7年4月＞ 博士（学校教育学）
		文化を読みとく B 自然を読みとく
その他	准教授	楊 靈琳 ＜令和7年4月＞ 博士（言語文化）
		人間を読みとく A 初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	池長 志紋 ＜令和7年4月＞ 修士（理学）
		基盤物理学実験
その他	講師	石原 勇次郎 ＜令和7年4月＞ 博士（芸術工学）
		アドベンチャースポーツ ウィンタースポーツ スポーツスタディ 健康の科学 生涯スポーツ
その他	講師	入江 祐加 ＜令和7年4月＞ 博士（文学）
		人間を読みとく A 社会を読みとく A 初修外国語 1 初修外国語 2
その他	講師	大川 稔和 ＜令和7年4月＞ 修士（人文学）
		D P 教育実践研究 1
その他	講師	栢野 祐介 ＜令和7年4月＞ 博士（理学）
		D P 化学

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
その他	准教授	新井 洋輔 ＜令和8年4月＞ 博士（心理学）
		フレッシュマンセミナー キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 アサーティブ・コミュニケー ション 学びの基礎論1 学びの基礎論2
その他	准教授	井本 美穂 ＜令和8年4月＞ 博士（教育学）
		フレッシュマンセミナー キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 キャリアデザイン3 キャリアデザイン4 企業情報特論 インターンシップ入門 インターンシップA インターンシップB インターンシップC 社会・産業実習 産業課題研究演習 リーダーシップ研修A（国内） リーダーシップ研修B（海外） リーダーシップ実践A（国内） リーダーシップ実践C（海外）
その他	准教授	久野 弘明 ＜令和8年4月＞ 博士（工学）
		フレッシュマンセミナー キャリアデザイン1 キャリアデザイン2 キャリアデザイン3 キャリアデザイン4 企業情報特論 インターンシップ入門 インターンシップA インターンシップB インターンシップC 社会・産業実習 産業課題研究演習 リーダーシップ研修A（国内） リーダーシップ研修B（海外） リーダーシップ実践A（国内） リーダーシップ実践C（海外）
その他	准教授	濱田 裕康 ＜令和8年4月＞ 博士（機能数理学）
		社会を読みとくB データを読みとく 基盤数学（微分積分1） 基盤数学（微分積分2） 基盤数学（線形代数）

教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	教員 区分	職名	氏 名 ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
						その他	講師	平野 宣敬 ＜令和8年4月＞ 博士（物理学）
								社会を読みとく B
						その他	講師	平宅 栄三 ＜令和8年4月＞ 修士（経営学）
								社会を読みとく B
						その他	講師	森 俊弘 ＜令和8年4月＞ 高等学校卒
								文化を読みとく A
						その他	講師	安川 満 ＜令和8年4月＞ 文学士
								文化を読みとく A
						その他	講師	安廣 孝明 ＜令和8年4月＞ 学士（理学）
								科学・工作ボランティア入門 科学ボランティア実践指導 1 科学ボランティア実践指導 2
						その他	講師	除本 理史 ＜令和8年4月＞ 博士（経済学）
								社会を読みとく A
						その他	講師	若松 孝史 ＜令和8年4月＞ 学士（理学）
								文化を読みとく A

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）

- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号（その2の1）（その2の2）（その2の3）に準じて作成してください。
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以前については、改正前様式第3号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て（基幹教員（大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」）以外の教員（助手を除く）（改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員）を含む。）を黒字で記入してください。
 その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」（改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」）の順に記入してください。
- ・ 改正後大学設置基準等（令和4年10月1日施行）の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。（大学院、高等専門学校は除く）
- ・ 教員がサバティカル等で不在の期間がある場合、その期間（年月日）を上段「学位」の下へ記入してください。
- ・ 不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目名を記入してください。

(1) ー②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

・学科運営に必要なため、基幹教員片山誠一教授の就任予定年月を「令和8年4月」から「令和7年4月」へ変更する。 ・学科運営に必要なため、基幹教員木場崇剛教授の就任予定年月を「令和7年9月」から「令和7年4月」へ変更する。 ・学科運営に必要なため、基幹教員橋川直也教授の就任予定年月を「令和7年9月」から「令和7年4月」へ変更する。 ・学科運営に必要なため、基幹教員松木範明教授の就任予定年月を「令和7年9月」から「令和7年4月」へ変更する。 ・学科運営に必要なため、基幹教員富安聡講師の就任予定年月を「令和8年4月」から「令和7年4月」へ変更する。 ・学科運営に必要なため、基幹教員竹本和憲助教の就任予定年月を「令和7年9月」から「令和7年4月」へ変更する。 ・その他教員浅野純一教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。令和7年4月よりその他講師として基盤教育科目「学びの基礎論1」「学びの基礎論2」を担当する。 ・その他教員石垣忍教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。 ・教育効果に配慮し、その他教員石田弘樹教授の担当科目に基盤教育科目「キャリアデザイン1」「キャリアデザイン2」「キャリアデザイン3」「キャリアデザイン4」「インターンシップ入門」「インターンシップA」「インターンシップB」「インターンシップC」「社会・産業実習」を追加する。 ・その他教員石原浩二教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員押谷潤教授が担当する基盤教育科目「人間を読みとくB」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員笠展幸教授が担当する基盤教育科目「インターンシップ入門」「インターンシップA」「インターンシップB」「インターンシップC」「社会・産業実習」「産業課題研究演習」を削除する。 ・その他教員衣笠哲也教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員河野敏行教授が担当する基盤教育科目「インターンシップA」「インターンシップB」「インターンシップC」「社会・産業実習」「産業課題研究演習」を削除する。 ・教育効果に配慮し、その他教員坂根弦太教授の担当科目に基盤教育科目「社会を読みとくB」を追加する。 ・クラス開講の調整により、その他教員佐藤文晴教授が担当する基盤教育科目「産業課題研究演習」を削除する。また、教育効果に配慮し、担当科目に基盤教育科目「キャリアデザイン1」「キャリアデザイン2」「キャリアデザイン3」「キャリアデザイン4」を追加する。 ・クラス開講の調整により、その他教員實吉玄貴教授が担当する基盤教育科目「産業課題研究演習」「人間を読みとくB」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員重松利信教授が担当する基盤教育科目「セルフ・アウェアネス」「リーダーシップ論」「リーダーシップ・ゼミナール」「リーダーシップ研修A（国内）」「リーダーシップ研修B（海外）」「リーダーシップ実践A（国内）」「リーダーシップ実践B（学内）」を削除する。また、教育効果に配慮し、担当科目に基盤教育科目「マナーマイスター講座初級」を追加する。 ・クラス開講の調整により、その他教員杉山正二教授が担当する基盤教育科目「基盤英語（初級）」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員滝澤昇教授が担当する基盤教育科目「科学ボランティア教材研究」「科学ボランティア活動1」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員竹崎誠教授が担当する基盤教育科目「科学・工作ボランティア入門」を削除する。 ・教育効果に配慮し、その他教員ダッタシャミ教授の担当科目に基盤教育科目「DP化学」を追加する。 ・教育効果に配慮し、その他教員辻維周教授の担当科目に基盤教育科目「文化を読みとくA」を追加する。 ・クラス開講の調整により、その他教員辻極秀次教授が担当する基盤教育科目「人間を読みとくB」「自然を読みとく」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員徳澤啓一教授が担当する基盤教育科目「文化を読みとくB」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員富岡直人教授が担当する基盤教育科目「文化を読みとくB」を削除する。 ・教育効果に配慮し、その他教員中川重和教授の担当科目に基盤教育科目「社会を読みとくB」を追加する。 ・その他教員中村修教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員西村次郎教授が担当する基盤教育科目「アドベンチャースポーツ」「ウインタースポーツ」「社会を読みとくA」を削除する。 ・その他教員秦敬治教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。令和7年4月よりその他講師として基盤教育科目「セルフ・アウェアネス」「ライフ・ビルディング」「人間を読みとくA」「リーダーシップ研修A（国内）」「リーダーシップ研修B（海外）」「リーダーシップ実践A（国内）」「マナーマイスター・アドバンストA（海外）」「マナーマイスター・アドバンストB（国内）」を担当する。
--

- ・クラス開講の調整により、その他教員畠山唯達教授が担当する基盤教育科目「文化を読みとくB」を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員前川洋子教授が担当する基盤教育科目「人間を読みとくB」「基盤英語（初級）」を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員牧祥教授が担当する基盤教育科目「データを読みとく」を削除する。
- ・その他教員松村博行教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。
- ・その他教員山口一裕教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。令和7年4月よりその他講師として基盤教育科目「セルフ・アウェアネス」「ライフ・ビルディング」「技術を読みとく」「基盤地学実験」「科学・工作ボランティア入門」「科学ボランティア実践指導1」「科学ボランティア実践指導2」「科学ボランティア教材研究」「科学ボランティア活動1」「科学ボランティア活動2」「マナーマイスター講座初級」「マナーマイスター・チャレンジ」「マナーマイスター・アドバンストA（海外）」「マナーマイスター・アドバンストB（国内）」を担当する。
- ・その他教員今山武志准教授が令和7年4月に教授に昇任した。また、クラス開講の調整により、担当する基盤教育科目「自然を読みとく」を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員佐藤友彦教授が担当する基盤教育科目「自然を読みとく」を削除する。
- ・その他教員ジェーンオハロラン准教授が令和7年4月に教授に昇任した。
- ・クラス開講の調整により、その他教員谷川依津江准教授が担当する基盤教育科目「グローバル入門」「国際バカロレア概論」「IB教育課程・方法論」「DP化学」を削除する。また、教育効果に配慮し、担当科目に基盤教育科目「基盤日本語1」「基盤日本語2」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員デイビットニール准教授が担当する基盤教育科目「基盤英語（上級）」を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員東馬哲雄准教授の担当科目に基盤教育科目「自然を読みとく」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員那須浩郎准教授が担当する基盤教育科目「文化を読みとくB」を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員新原隆史准教授の担当科目に基盤教育科目「科学・工作ボランティア入門」「科学ボランティア実践指導1」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員林昭次准教授が担当する基盤教育科目「自然を読みとく」を削除する。
- ・その他教員林恒宏准教授が令和7年4月に教授に昇任した。また、教育効果に配慮し、担当科目に基盤教育科目「リーダーシップ実践B（学内）」を追加する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員藤木利之准教授の担当科目に基盤教育科目「キャリアデザイン4」「インターンシップA」「インターンシップB」「インターンシップC」「社会・産業実習」を追加する。
- ・その他教員松尾美香准教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。令和7年4月よりその他講師として基盤教育科目「学びの基礎論1」「学びの基礎論2」を担当する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員宮本真二准教授が担当する基盤教育科目「文化を読みとくB」を削除する。
- ・その他教員横山ひとみ准教授が令和7年4月に教授に昇任した。また、クラス開講の調整により、担当する基盤教育科目「人間を読みとくB」「リーダーシップ研修A（国内）」「リーダーシップ研修B（海外）」「リーダーシップ実践A（国内）」を削除する。
- ・その他教員猪口雅彦講師の担当科目に令和7年3月31日をもって退職したたその他教員石原浩二教授の担当する専門教育科目「生命科学概論Ⅱ」を追加する。
- ・その他教員小野舞子講師が令和7年4月に准教授に昇任した。また、クラス開講の調整により、担当する基盤教育科目「マナーマイスター・チャレンジ」を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員木村光宏講師の担当科目に基盤教育科目「DP化学」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員野間川内一樹講師が担当する基盤教育科目「リーダーシップ研修A（国内）」「リーダーシップ研修B（海外）」「リーダーシップ実践A（国内）」を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員赤羽（杉山）美鳥講師が担当する基盤教育科目「基盤英語（中級）」を削除する。
- ・任期満了により、その他教員井門裕子講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員井上建吾講師を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員伊野家伸一講師が担当する基盤教育科目「基盤英語（準中級）」を削除する。
- ・任期満了により、その他教員江面嗣人講師を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員大竹みしず講師が担当する基盤教育科目「基盤英語（初級）」を削除する。
- ・任期満了により、その他教員太田由佳講師を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員大野浩恵講師が担当する基盤教育科目「基盤英語（準中級）」を削除する。
- ・任期満了により、その他教員奥山広規講師を削除する。

- ・任期满了により、その他教員小畑直也講師を削除する。
- ・任期满了により、その他教員亀田修一講師を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員齋藤亜沙実講師の担当科目に基盤教育科目「基盤地学実験」を追加する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員支洪濤講師の担当科目に基盤教育科目「初修外国語２」を追加する。
- ・任期满了により、その他教員武井敬仁講師を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員高尾晋悟講師の担当科目に基盤教育科目「自然を読みとく」を追加する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員千代慧講師の担当科目に基盤教育科目「自然を読みとく」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員仲道雅輝講師が担当する基盤教育科目「スポーツスタディ」を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員バーデン京子講師が担当する基盤教育科目「基盤英語（中級）」を削除する。また、教育効果に配慮し、担当科目に基盤教育科目「基礎英会話」を追加する。
- ・任期满了により、その他教員林玉美講師を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員広瀬由紀子講師が担当する基盤教育科目「基盤英語（準中級）」を削除する。
- ・任期满了により、その他教員宝来毅講師を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員松岡由美子講師の担当科目に基盤教育科目「検定英語（初級）」を追加する。
- ・任期满了により、その他教員松原明子講師を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員宮下竣吉講師の担当科目に基盤教育科目「自然を読みとく」を追加する。
- ・任期满了により、その他教員村上肇講師を削除する。
- ・任期满了により、その他教員森元亜紀子講師を削除する。
- ・任期满了により、その他教員山内武巳講師を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員山咲博昭講師の担当科目に基盤教育科目「ライフ・ビルディング」を追加する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員渡邊守講師の担当科目に基盤教育科目「自然を読みとく」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員河合史菜助教が担当する基盤教育科目「フィットネス」「アドベンチャースポーツ」「ウインタースポーツ」「スポーツスタディ」を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員中山紘之助教が担当する基盤教育科目「リーダーシップ研修Ａ（国内）」「リーダーシップ研修Ｂ（海外）」「リーダーシップ実践Ａ（国内）」を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員ジェイソンペイデンメン助教が担当する基盤教育科目「基盤英語（上級）」を削除する。
- ・その他教員森田理日斗助教が令和7年4月に講師に昇任した。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員坂本直史教授を追加し、基盤教育科目「キャリアデザイン３」「企業情報特論」の担当とする。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員堀越亮教授を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくＢ」「基盤化学実験」の担当とする。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員上嶋明准教授を追加し、基盤教育科目「科学・工作ボランティア入門」「科学ボランティア実践指導１」の担当とする。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員奥村英則准教授を追加し、基盤教育科目「データを読みとく」「技術を読みとく」「基盤数学（微分積分１）」「基盤数学（微分積分２）」「基盤数学（線形代数）」の担当とする。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員林美帆准教授を追加し、基盤教育科目「理解と表現」「人間を読みとくＡ」「人間を読みとくＢ」「文化を読みとくＡ」「社会を読みとくＢ」「技術を読みとく」の担当とする。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員平松直哉准教授を追加し、基盤教育科目「データを読みとく」「技術を読みとく」「基盤数学（微分積分１）」「基盤数学（微分積分２）」「基盤数学（線形代数）」の担当とする。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員藤木利之准教授を追加し、基盤教育科目「キャリアデザイン４」「企業情報特論」「インターンシップＡ」「インターンシップＢ」「インターンシップＣ」「社会・産業実習」「産業課題研究演習」「技術を読みとく」の担当とする。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員山下浩之准教授を追加し、基盤教育科目「自然を読みとく」の担当とする。
- ・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員楊靈琳准教授を追加し、基盤教育科目「人間を読みとくＡ」「初修外国語１」「初修外国語２」の担当とする。

・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員朝井貴裕講師を追加し、基盤教育科目「技術を読みとく」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員池長志紋講師を追加し、基盤教育科目「基盤物理学実験」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員石原勇次郎講師を追加し、基盤教育科目「フレッシュマンセミナー」「アドベンチャースポーツ」「ウィンタースポーツ」「スポーツスタディ」「健康の科学」「生涯スポーツ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員入江祐加講師を追加し、基盤教育科目「人間を読みとくA」「初修外国語1」「初修外国語2」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員大川稔和講師を追加し、基盤教育科目「DP教育実践研究1」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員栢野祐介講師を追加し、基盤教育科目「DP化学」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員久保田秀明講師を追加し、基盤教育科目「スポーツスタディ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員古川桂講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくB」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員佐藤眞久講師を追加し、基盤教育科目「ウィンタースポーツ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員塩見則明講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくB」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員重久孝介講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくB」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員清水幸子講師を追加し、基盤教育科目「ウィンタースポーツ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員朱風講師を追加し、基盤教育科目「初修外国語1」「初修外国語2」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員白神賢治講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくB」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員高戸仁郎講師を追加し、基盤教育科目「生涯スポーツ」「社会を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員中田秀哉講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくB」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員永留聡講師を追加し、基盤教育科目「国際バカロレア概論」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員中畑里英講師を追加し、基盤教育科目「健康の科学」「生涯スポーツ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員西村忍講師を追加し、基盤教育科目「ウィンタースポーツ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員西原立講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくB」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員乗岡実講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員濱田雄仁講師を追加し、基盤教育科目「健康の科学」「生涯スポーツ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員樋口俊通講師を追加し、基盤教育科目「DP化学」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員廣瀬路子講師を追加し、基盤教育科目「マナーマイスター講座初級」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員堀田和義講師を追加し、基盤教育科目「人間を読みとくA」「人間を読みとくB」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員牧涼介講師を追加し、基盤教育科目「科学・工作ボランティア入門」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員松永雅利講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくB」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員間野和美講師を追加し、基盤教育科目「フィットネス」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員安井正也講師を追加し、基盤教育科目「リーダーシップ論」「リーダーシップ・ゼミナール」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員山内大介講師を追加し、基盤教育科目「自然を読みとく」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員吉田升講師を追加し、基盤教育科目「健康の科学」「生涯スポーツ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員力武裕講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくB」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員鷺崎隆陽講師を追加し、基盤教育科目「スポーツスタディ」の担当とする。

【令和８年度】

・学科運営に必要なため、基幹教員片山誠一教授の就任予定年月を「令和８年４月」から「令和７年４月」へ変更する。 ・学科運営に必要なため、基幹教員木場崇剛教授の就任予定年月を「令和７年９月」から「令和７年４月」へ変更する。 ・学科運営に必要なため、基幹教員橋川直也教授の就任予定年月を「令和７年９月」から「令和７年４月」へ変更する。 ・学科運営に必要なため、基幹教員松木範明教授の就任予定年月を「令和７年９月」から「令和７年４月」へ変更する。 ・学科運営に必要なため、基幹教員富安聡講師の就任予定年月を「令和８年４月」から「令和７年４月」へ変更する。 ・学科運営に必要なため、基幹教員竹本和憲助教の就任予定年月を「令和７年９月」から「令和７年４月」へ変更する。また、令和８年３月に博士の学位を取得したため、保有学位を「修士（医科学）」から「博士（工学）」へ変更する。 ・クラス開講の調整により、その他教員青木一勝教授が担当する基盤教育科目「自然を読みとく」を削除する。 ・その他教員浅野純一教授が令和７年３月31日をもって退職したため削除する。令和７年４月よりその他講師として基盤教育科目「学びの基礎論１」「学びの基礎論２」を担当する。 ・その他教員石垣忍教授が令和７年３月31日をもって退職したため削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員石田弘樹教授が担当する基盤教育科目「企業情報特論」「産業課題研究演習」を削除する。 ・その他教員石原浩二教授が令和７年３月31日をもって退職したため削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員大熊一正教授が担当する基盤教育科目「技術を読みとく」を削除する。また、教育効果に配慮し、担当科目に基盤教育科目「社会を読みとくＢ」を追加する。 ・クラス開講の調整により、その他教員大橋唯太教授が担当する基盤教育科目「自然を読みとく」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員押谷潤教授が担当する基盤教育科目「人間を読みとくＢ」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員笠展幸教授が担当する基盤教育科目「インターンシップ入門」「インターンシップＡ」「インターンシップＢ」「インターンシップＣ」「社会・産業実習」「産業課題研究演習」を削除する。 ・その他教員衣笠哲也教授が令和７年３月31日をもって退職したため削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員クルモフパレリートドロフ教授が担当する基盤教育科目「科学・工作ボランティア入門」「科学ボランティア実践指導１」「科学ボランティア実践指導２」「科学ボランティア活動１」を削除する。 ・その他教員黒田正博教授が令和８年３月31日をもって退職したため削除する。令和８年４月よりその他講師として基盤教育科目「社会を読みとくＢ」を担当する。 ・クラス開講の調整により、その他教員河野敏行教授が担当する基盤教育科目「インターンシップＡ」「インターンシップＢ」「インターンシップＣ」「社会・産業実習」「産業課題研究演習」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員坂根弦太教授が担当する基盤教育科目「技術を読みとく」を削除する。また、教育効果に配慮し、担当科目に基盤教育科目「社会を読みとくＢ」「自然を読みとく」を追加する。 ・クラス開講の調整により、その他教員佐藤文晴教授が担当する基盤教育科目「産業課題研究演習」を削除する。また、教育効果に配慮し、担当科目に基盤教育科目「キャリアデザイン１」「キャリアデザイン２」「キャリアデザイン３」「キャリアデザイン４」を追加する。 ・クラス開講の調整により、その他教員實吉玄貴教授が担当する基盤教育科目「産業課題研究演習」「人間を読みとくＢ」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員重松利信教授が担当する基盤教育科目「セルフ・アウェアネス」「技術を読みとく」「科学・工作ボランティア入門」「科学ボランティア実践指導１」「科学ボランティア活動１」「リーダーシップ論」「リーダーシップ・ゼミナール」「リーダーシップ研修Ａ（国内）」「リーダーシップ研修Ｂ（海外）」「リーダーシップ実践Ａ（国内）」「リーダーシップ実践Ｂ（学内）」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員杉山正二教授が担当する基盤教育科目「基盤英語（初級）」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員滝澤昇教授が担当する基盤教育科目「科学ボランティア実践指導１」「科学ボランティア教材研究」「科学ボランティア活動１」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員竹崎誠教授が担当する基盤教育科目「科学・工作ボランティア入門」を削除する。 ・教育効果に配慮し、その他教員ダッタシャミ教授の担当科目に基盤教育科目「ＤＰ化学」を追加する。 ・教育効果に配慮し、その他教員辻維周教授の担当科目に基盤教育科目「文化を読みとくＡ」を追加する。 ・クラス開講の調整により、その他教員辻極秀次教授が担当する基盤教育科目「人間を読みとくＢ」「自然を読みとく」を削除する。 ・教育効果に配慮し、その他教員徳澤啓一教授が担当する基盤教育科目「文化を読みとくＡ」「社会を読みとくＡ」を追加する。 ・クラス開講の調整により、その他教員富岡直人教授が担当する基盤教育科目「文化を読みとくＢ」を削除する。 ・クラス開講の調整により、その他教員豊田新教授が担当する基盤教育科目「基盤物理学実験」を追加する。 ・クラス開講の調整により、その他教員中川恵友教授が担当する基盤教育科目「技術を読みとく」を削除する。 ・教育効果に配慮し、その他教員中川重和教授の担当科目に基盤教育科目「基盤数学（線形代数）」を追加する。 ・クラス開講の調整により、その他教員中島弘徳教授が担当する基盤教育科目「技術を読みとく」を削除する。
--

- ・その他教員中村修教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。
- ・その他教員西村次郎教授が令和8年3月31日をもって退職したため削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員能美洋介教授が担当する基盤教育科目「人間を読みとくA」を削除する。
- ・その他教員秦敬治教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。その他講師として基盤教育科目「ファシリテーション演習」「人間を読みとくA」「リーダーシップ論」「リーダーシップ・ゼミナール」「マナーマイスター・チャレンジ」「マナーマイスター・アドバンストA（海外）」「マナーマイスター・アドバンストB（国内）」を担当する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員畠山唯達教授が担当する基盤教育科目「文化を読みとくB」を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員前川洋子教授が担当する基盤教育科目「人間を読みとくB」「基盤英語（初級）」を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員牧祥教授が担当する基盤教育科目「データを読みとく」を削除する。
- ・その他教員松村博行教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員安田貴徳教授が担当する基盤教育科目「自然を読みとく」「技術を読みとく」を削除する。また、教育効果に配慮し、担当科目に基盤教育科目「社会を読みとくB」を追加する。
- ・その他教員山口一裕教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。その他講師として基盤教育科目を担当していたが、任期満了のため削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員米田稔教授が担当する基盤教育科目「科学ボランティア実践指導1」「科学ボランティア実践指導2」「科学ボランティア活動1」を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員青木宏之准教授の担当科目に基盤教育科目「自然を読みとく」を追加する。
- ・その他教員今山武志准教授が令和7年4月に教授に昇任した。また、クラス開講の調整により、担当する基盤教育科目「自然を読みとく」を削除する。
- ・その他教員奥野新太郎准教授が令和7年8月31日をもって退職したため削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員加瀬遼一准教授が担当する基盤教育科目「技術を読みとく」を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員佐藤友彦教授が担当する基盤教育科目「自然を読みとく」を削除する。また、担当する基盤教育科目「科学・工作ボランティア入門」を追加する。
- ・その他教員ジェーンオハロラン准教授が令和7年4月に教授に昇任した。
- ・クラス開講の調整により、その他教員谷川依津江准教授が担当する基盤教育科目「グローバル入門」「国際バカロレア概論」「IB教育課程・方法論」「DP化学」を削除する。また、教育効果に配慮し、担当科目に基盤教育科目「基盤日本語1」「基盤日本語2」を追加する。
- ・その他教員東馬哲雄准教授が令和8年4月に教授に昇任した。また、教育効果に配慮し、担当科目に基盤教育科目「自然を読みとく」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員那須浩郎准教授が担当する基盤教育科目「文化を読みとくB」を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員林昭次准教授が担当する基盤教育科目「自然を読みとく」を削除する。
- ・その他教員林恒宏准教授が令和7年4月に教授に昇任した。また、教育効果に配慮し、担当科目に基盤教育科目「リーダーシップ実践B（学内）」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員藤木利之准教授が担当する基盤教育科目「企業情報特論」「産業課題研究演習」「技術を読みとく」を削除する。
- ・その他教員松尾美香准教授が令和7年3月31日をもって退職したため削除する。その他講師として基盤教育科目を担当していたが、任期満了のため削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員宮本真二准教授が担当する基盤教育科目「文化を読みとくB」を削除する。
- ・その他教員横山ひとみ准教授が令和7年4月に教授に昇任した。また、クラス開講の調整により、担当する基盤教育科目「ファシリテーション演習」「人間を読みとくB」「リーダーシップ研修A（国内）」「リーダーシップ研修B（海外）」「リーダーシップ実践A（国内）」を削除する。
- ・その他教員猪口雅彦講師の担当科目に令和7年3月31日をもって退職したその他教員石原浩二教授の担当する専門教育科目「生命科学概論Ⅱ」を追加する。また、クラス開講の調整により、担当する基盤教育科目「科学ボランティア活動1」を削除する。
- ・その他教員小野舞子准教授が令和7年9月30日をもって退職したため削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員木村光宏講師の担当科目に基盤教育科目「DP化学」を追加する。
- ・その他教員志藤あずさ講師が令和8年4月に准教授に昇任した。また、クラス開講の調整により、担当する基盤教育科目「人間を読みとくA」を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員塚常健太講師が担当する基盤教育科目「データを読みとく」を削除する。
- ・その他教員長田洋輔講師が令和8年4月に准教授に昇任した。
- ・クラス開講の調整により、その他教員西川憲一講師の担当科目に基盤教育科目「学術英語（上級）」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員野間川内一樹講師が担当する基盤教育科目「ファシリテーション演習」「人間を読みとくA」「リーダーシップ研修A（国内）」「リーダーシップ研修B（海外）」「リーダーシップ実践A（国内）」を削除する。
- ・その他教員藤城孝輔講師が令和7年9月30日をもって退職したため削除する。
- ・任期満了により、その他教員青木志津佳講師を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員赤羽（杉山）美鳥講師が担当する基盤教育科目「基盤英語（中級）」を削除する。また、担当する基盤教育科目「基盤英語（初級）」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員糸山嘉彦講師が担当する基盤教育科目「科学ボランティア教材研究」を削除する。
- ・任期満了により、その他教員井門裕子講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員井上建吾講師を削除する。

- ・クラス開講の調整により、その他教員上仲律子講師が担当する基盤教育科目「基盤英語（準中級）」を追加する。
- ・その他教員江面嗣人講師を令和８年４月よりその他教員の教授とする。また、教育効果に配慮し、担当する基盤教育科目「自然を読みとく」を追加する。
- ・任期満了により、その他教員大竹みしず講師を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員太田由佳講師が担当する基盤教育科目「基盤英語（初級）」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員大野浩恵講師が担当する基盤教育科目「基盤英語（準中級）」「学術英語（上級）」を削除する。また、担当する基盤教育科目「基盤英語（初級）」「学術英語（中級）」を追加する。
- ・任期満了により、その他教員奥山広規講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員小畑直也講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員椋原美和講師を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員春日二郎講師が担当する基盤教育科目「科学ボランティア実践指導１」「科学ボランティア教材研究」を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員亀田修一講師が担当する基盤教育科目「文化を読みとくＢ」を削除する。また、担当する基盤教育科目「文化を読みとくＡ」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員木庭雅保講師が担当する基盤教育科目「科学ボランティア実践指導１」を削除する。
- ・任期満了により、その他教員小坂圭二講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員小松原貢講師を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員齋藤亜沙実講師の担当科目に基盤教育科目「基盤地学実験」を追加する。
- ・任期満了により、その他教員齋藤章一朗講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員齋藤尚志講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員支洪濤講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員武井敬仁講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員高尾晋悟講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員多田章利講師を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員千代慧講師の担当科目に基盤教育科目「自然を読みとく」を追加する。
- ・任期満了により、その他教員土橋恵美子講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員遠矢英憲講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員河智弘講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員林玉美講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員広瀬由紀子講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員藤川貴司講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員宝来毅講師を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員前田なつ美講師が担当する臨床検査学コース専門科目「遺伝子検査学実習」「血液検査学実習」を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員松岡由美子講師の担当科目に基盤教育科目「検定英語（初級）」を追加する。
- ・任期満了により、その他教員松原明子講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員三木淳男講師を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員宮下竣吉講師の担当科目に基盤教育科目「自然を読みとく」を追加する。
- ・任期満了により、その他教員村上肇講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員望月雅光講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員森元亜紀子講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員山内武巳講師を削除する。
- ・任期満了により、その他教員山咲博昭講師を削除する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員湯川治敏講師が担当する基盤教育科目「アドベンチャースポーツ」を削除する。担当する基盤教育科目「スポーツスタディ」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員吉木才三講師が担当する基盤教育科目「科学ボランティア実践指導１」「科学ボランティア教材研究」を削除する。
- ・任期満了により、その他教員吉野雄二講師を削除する。
- ・教育効果に配慮し、その他教員渡邊守講師の担当科目に基盤教育科目「自然を読みとく」を追加する。
- ・クラス開講の調整により、その他教員河合史菜助教が担当する基盤教育科目「アドベンチャースポーツ」「ウインタースポーツ」「スポーツスタディ」を削除する。

・クラス開講の調整により、その他教員黒木出助教が担当する基盤教育科目「基盤生物学１」「基盤生物学２」を削除する。
・その他教員中山紘之助教が令和８年３月31日をもって退職したため削除する。
・その他教員森田理日斗助教が令和7年4月に講師に昇任した。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員坂本直史教授を追加し、基盤教育科目「キャリアデザイン３」「企業情報特論」「グローバルエリート入門」「リーダーシップ研修Ａ（国内）」「リーダーシップ研修Ｂ（海外）」「リーダーシップ実践Ａ（国内）」「リーダーシップ実践Ｃ（海外）」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員堀越亮教授を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくＢ」「自然を読みとく」「基盤化学実験」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員上嶋明准教授を追加し、基盤教育科目「科学・工作ボランティア入門」「科学ボランティア実践指導１」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員奥村英則准教授を追加し、基盤教育科目「データを読みとく」「技術を読みとく」「基盤数学（微分積分１）」「基盤数学（微分積分２）」「基盤数学（線形代数）」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員林美帆准教授を追加し、基盤教育科目「理解と表現」「人間を読みとくＡ」「人間を読みとくＢ」「文化を読みとくＡ」「社会を読みとくＢ」「技術を読みとく」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員平松直哉准教授を追加し、基盤教育科目「データを読みとく」「技術を読みとく」「基盤数学（微分積分１）」「基盤数学（微分積分２）」「基盤数学（線形代数）」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員山下浩之准教授を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくＢ」「自然を読みとく」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員楊靈琳准教授を追加し、基盤教育科目「人間を読みとくＡ」「初修外国語１」「初修外国語２」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員池長志紋講師を追加し、基盤教育科目「基盤物理学実験」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員石原勇次郎講師を追加し、基盤教育科目「アドベンチャースポーツ」「ウィンタースポーツ」「スポーツスタディ」「健康の科学」「生涯スポーツ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員入江祐加講師を追加し、基盤教育科目「人間を読みとくＡ」「社会を読みとくＡ」「初修外国語１」「初修外国語２」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員大川稔和講師を追加し、基盤教育科目「ＤＰ教育実践研究１」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員栢野祐介講師を追加し、基盤教育科目「ＤＰ化学」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員古川桂講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくＢ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員重久孝介講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくＢ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員清水幸子講師を追加し、基盤教育科目「ウィンタースポーツ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員朱風講師を追加し、基盤教育科目「初修外国語１」「初修外国語２」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員高戸仁郎講師を追加し、基盤教育科目「スポーツスタディ」「生涯スポーツ」「社会を読みとくＡ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員中田秀哉講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくＢ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員永留聡講師を追加し、基盤教育科目「国際バカロレア概論」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員西村忍講師を追加し、基盤教育科目「ウィンタースポーツ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員西原立講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくＢ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員乗岡実講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくＡ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員濱田雄仁講師を追加し、基盤教育科目「健康の科学」「生涯スポーツ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員樋口俊通講師を追加し、基盤教育科目「ＤＰ化学」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員廣瀬路子講師を追加し、基盤教育科目「マナーマイスター講座初級」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員堀田和義講師を追加し、基盤教育科目「人間を読みとくＡ」「人間を読みとくＢ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員牧涼介講師を追加し、基盤教育科目「科学・工作ボランティア入門」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員松永雅利講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくＢ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員安井正也講師を追加し、基盤教育科目「リーダーシップ論」「リーダーシップ・ゼミナール」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員山内大介講師を追加し、基盤教育科目「自然を読みとく」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員吉田升講師を追加し、基盤教育科目「健康の科学」「生涯スポーツ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員武力裕講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくＢ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員内田誠教授を追加し、基盤教育科目「フレッシュマンセミナー」「キャリアデザイン１」「キャリアデザイン２」「キャリアデザイン３」「キャリアデザイン４」「企業情報特論」「インターンシップ入門」「インターンシップＡ」「インターンシップＢ」「インターンシップＣ」「社会・産業実習」「産業課題研究演習」「リーダーシップ研修Ａ（国内）」「リーダーシップ研修Ｂ（海外）」「リーダーシップ実践Ａ（国内）」「リーダーシップ実践Ｃ（海外）」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員佐藤洋一郎教授を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくＢ」「技術を読みとく」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員俵寛司教授を追加し、基盤教育科目「人間を読みとくＢ」「文化を読みとくＡ」「文化を読みとくＢ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員本田充彦教授を追加し、基盤教育科目「自然を読みとく」の担当とする。

・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員新井洋輔准教授を追加し、基盤教育科目「フレッシュマンセミナー」「キャリアデザイン1」「キャリアデザイン2」「アサーティブ・コミュニケーション」「学びの基礎論1」「学びの基礎論2」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員井本美穂准教授を追加し、基盤教育科目「フレッシュマンセミナー」「キャリアデザイン1」「キャリアデザイン2」「キャリアデザイン3」「キャリアデザイン4」「企業情報特論」「インターンシップ入門」「インターンシップA」「インターンシップB」「インターンシップC」「社会・産業実習」「産業課題研究演習」「リーダーシップ研修A（国内）」「リーダーシップ研修B（海外）」「リーダーシップ実践A（国内）」「リーダーシップ実践C（海外）」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員久野弘明准教授を追加し、基盤教育科目「フレッシュマンセミナー」「キャリアデザイン1」「キャリアデザイン2」「キャリアデザイン3」「キャリアデザイン4」「企業情報特論」「インターンシップ入門」「インターンシップA」「インターンシップB」「インターンシップC」「社会・産業実習」「産業課題研究演習」「リーダーシップ研修A（国内）」「リーダーシップ研修B（海外）」「リーダーシップ実践A（国内）」「リーダーシップ実践C（海外）」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員濱田裕康准教授を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくB」「データを読みとく」「基盤数学（微分積分1）」「基盤数学（微分積分2）」「基盤数学（線形代数）」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員安東康宏講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員石倉研講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員伊藤創講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員稲毛朱奈子講師を追加し、基盤教育科目「マナーマイスター講座初級」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員歌川学講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員江頭説子講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員大越司講師を追加し、基盤教育科目「基盤地学実験」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員大島堅一講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員大谷博志講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員大橋雅也講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員尾崎寛直講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員蒲地直志講師を追加し、基盤教育科目「スポーツスタディ」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員里俊輔講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくB」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員重根弘和講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員志野敏夫講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員島崎東講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員白石純講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員関耕平講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員高木瞭講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくB」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員武末慎講師を追加し、基盤教育科目「健康の科学」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員谷山雅彦講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員中地重晴講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員畑木亦梅講師を追加し、基盤教育科目「初修外国語1」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員服部育代講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員林直美講師を追加し、基盤教育科目「基盤英語（中級）」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員平野宣敬講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくB」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員平宅栄三講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくB」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員森俊弘講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員安川満講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員安廣孝明講師を追加し、基盤教育科目「科学・工作ボランティア入門」「科学ボランティア実践指導1」「科学ボランティア実践指導2」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員除本理史講師を追加し、基盤教育科目「社会を読みとくA」の担当とする。
・教育効果に配慮し担当教員を調整した結果、その他教員若松拳史講師を追加し、基盤教育科目「文化を読みとくA」の担当とする。

- (注)・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。
- 原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。**
- なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります。）
- ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和７年度開設であれば令和６年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力量科）」の基幹教員数について、「（2）-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「（2）-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力量科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)－① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（（α）の4分の3以上）
14名	7名	11名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。

- ・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)－② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A''）	助手（A'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（B''）	助手（B'）
8	2	3	1	14	14	0	8	2	3	1	14	14	0
（ 8 ）	（ 2 ）	（ 3 ）	（ 1 ）	（ 14 ）	（ 14 ）	（ 0 ）							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（C''）	助手（C'）	教 授	准教授	講 師	助 教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（D''）	助手（D'）
8	2	3	1	14	14	0	8	2	3	1	14	14	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。

高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計）」として記入してください。

なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。

また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）（A''）」欄には「－」を記入してください。

・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)－③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65歳	0名	2名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて基幹教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて基幹教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)－④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

現在（報告時）の完成年度時の状況（C）
設置時の計画（A）

$$= \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

現在（報告時）の完成年度時の状況（C''）
設置時の計画（A''）

$$= \frac{14}{14} = \boxed{100} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(2)－⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(2)－⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由
(3)－① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合計（D）						後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（3）－②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		該当なし											
合 計（F）						後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。
（学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 - ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)－③ 上記（3）－① ・ （3）－② の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目		
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目		
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目		

(3)－④ 設置時の計画に対する教員辞任率

(3)－③合計(D)+(F)

(2)－②設置時の計画(A)

=

0

14

=

0

%

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和7年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0

人

(注)・ (3)－①、(3)－②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。
 ・令和8年度開設の学科等の場合、(D)＋(F)と同数を記載してください。

(3)－⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
		該当なし											
合計					後任補充状況の集計								
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ **定年により退職した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで**に**基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」

・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼任教員）が担当する（している）場合は「②」

・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和6年)	選択科目のうち、臨床検査学コースと臨床工学コースで履修要件に差異がある授業科目について、学生が国家資格取得に必要な授業科目を確実に履修しつつ、体系的に学修できるよう、シラバスでコース別の取扱いを明記するなど、コースごとの履修方法について分かりやすい資料を用いて丁寧な履修指導を行うこと。	【認可】 遵守事項 学生が国家資格取得に必要な授業科目を確実に履修しつつ、体系的に学修できるように、臨床検査学コース教員1名と臨床工学コース教員1名で構成する年次チューターが中心となって新入生オリエンテーションを実施し、履修指導や資格取得に関する説明を行った（資料1）。さらに教務担当教員から基盤教育科目と専門教育科目によるカリキュラムや国家資格取得の条件についての詳細な説明をした上で、コースごとの専門科目の履修について分かりやすい資料を作成して解説した（資料2）。（7）	履行中 1年次後期からは臨床検査学コースまたは臨床工学コースのどちらかに所属し、それぞれのコース専門科目の履修を開始することになるため、コース選択について詳細な説明会を実施する予定である。学生のコース希望について新入生オリエンテーションで確認し各自面談を行なったが、コース選択について迷っている学生については追加面談等による指導を実施する。コース選択後の後期授業の開始時には、それぞれの国家資格取得の条件を満たす履修ができているか改めて確認する予定である。（7）
		学生が国家資格取得に必要な授業科目を確実に履修しつつ、体系的に学修できるように、臨床検査学コース教員1名と臨床工学コース教員1名で構成する年次チューターが中心となって医療技術学科フレッシュマンセミナー・新入生オリエンテーションを実施し、DP・CPを含む本学科における教育の特徴をわかりやすく説明した（資料1）。さらに基盤教育科目と専門教育科目によるカリキュラムや国家資格取得の条件についての詳細な説明をした上で、コースごとの専門科目の履修についてわかりやすい資料を作成して解説した（資料2）。	履行中 1年生には、後期からのコース選択について詳細な説明会を実施し、2年生に対しては臨床検査技師・臨床工学技士の国家資格取得の条件を満たす履修ができていないか確認する予定である。また1年生でコース選択について迷っている学生については、専門科目の授業を通して呼びかけて追加面談等による指導を実施する方針である。
	教育にふさわしい環境確保の観点から、アドミッション・ポリシーを踏まえた適切な入学選抜の実施に留意しつつ、設置計画における収容定員に見合った学生の確保に努めること。また、入学者数等の状況に応じた収容定員の適切な規模について不断の検討を行うとともに、必要に応じて定員の見直しを図ること。	【認可】 遵守事項 アドミッション・ポリシーを踏まえ、臨床検査技師、臨床工学技士と2種類の医療系国家資格が取得できる学科として、中四国、九州・沖縄エリアの受験生に対してDMなどの周知による学生確保に努め、入学選抜を実施したが、年内における学生募集の期間が認可後から短期間であったため、収容定員充足率は65%となった。 また、令和2(2020)年度第3期大学評価においても、学部・学科の定員管理を徹底するよう全学的に意見が付されている。このため、収容定員に見合った学生確保に向けて、「岡山理科大学第Ⅱ期アクションプラン」に入学選抜の改革やブランディング強化の施策を掲げ全学的に取り組むことにした。これらについて、本学の内部質保証の有効性、妥当性を検証する組織である「大学評価委員会」において、外部委員（高等教育の専門家、地元産業界からの有識者、地方自治体の代表者）から意見を聴取し、全学的に収容定員設定の適切性について検討を行った。（7）	履行中 県内の高校教員を本学に招き、学科概要説明や施設見学を実施し、本学科の魅力を伝えていくとともに、臨床検査技師、臨床工学技士と2種類の医療系国家資格が取得できる学科として、中四国、九州・沖縄エリアの受験生を中心にDMなどで周知を図る。 総合型選抜（オープンキャンパス利用方式）を利用するなど、年内の入学選抜において、学生の確保に努める。 また、第4期大学評価に向け、収容定員の適切な規模について検討を行うため、6月・12月に「大学評価委員会」を開催し、本学の内部質保証の有効性、妥当性を検証していく。（7）

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
		アドミッション・ポリシーを踏まえ、臨床検査技師、臨床工学技士と2種類の医療系国家資格が取得できる学科であることを、DMなどにより高校生に周知させるよう努めた。また、総合型選抜（オープンキャンパス利用方式）を利用するなど、年内の入学者選抜において、学生の確保に努めた結果、収容定員充足率は令和7（2025）年度の65%から、令和8（2026）年度に72%へと上昇させることができた。 引き続き、「岡山理科大学第Ⅱ期アクションプラン」に入学者選抜の改革やブランディング強化の施策を掲げ、収容定員に見合う学生の確保に取り組んだ。また、本学の内部質保証の有効性、妥当性を検証する「大学評価委員会」において、他学園の理事長など、大学マネジメントに対して高い見識を持つ産学官からの外部委員の意見を聴き、本学科の定員設定の適切性について検討した。（8）	高校生への学科認知度が依然として不足していることが課題である。今後は、臨床検査技師および臨床工学技士の国家資格取得に向けた支援に加え、理系総合大学の強みを活かした独自の教育カリキュラムを近隣高校への訪問やDMを通じて周知し、定員充足を目指していく。（8） また、第4期大学評価の受審を控えており、収容定員の適切な設定について検討するため、6月・12月に「大学評価委員会」を開催し、外部委員の意見を聴きながら完成年度以降の定員設定について検討を進める計画である。（8）
	理学部化学科の収容定員未充足の是正に努めること。	申請時、理学部化学科の収容定員充足率は令和4（2022）年度68%、令和5（2023）年度62%であった。 高校への聞き取り調査では「化学」選択者の減少という意見が多く、そのため、高校低学年より、化学への興味関心を引き出すために、「高校生のための化学実験教室」を本学で開催している。 また、企業・公的機関での研究職を目指し、大学院へ早期進学を目指す「大学院早期進学コース」も高校生へ訴求力があるため、フライヤーを作成し周知を図っているが、収容定員充足率は令和6（2024）年度52%、令和7年（2025）年度43%となっており、いまだ未充足の状況が続いている。（7）	化学への興味関心を引き出すため、「高校生のための化学実験教室」を開催するとともに、新たに中学校への出張講義を行い、将来の志願者確保につなげていく。 また、タイムリーなDM発送や県内の高校訪問もこれまで以上に強化し、周知を図っていくとともに学科の学びの動画をHPにて紹介することで、研究力のある大学として社会にアピールしていく。 令和8（2026）年度に収容定員変更（入学定員減）を届出予定である。（7）
	【認可】 遵守事項	高校への聞き取り調査の結果、「化学」選択者の減少が課題として浮き彫りになった。そのため本学では、早い段階から化学への興味・関心を喚起すべく、高校低学年を対象とした「高校生のための化学実験教室」を開催している。 また、研究職志望の生徒に向けた「大学院早期進学コース」の周知を図るため、フライヤーを作成し訴求に努めている。収容定員充足率は、令和6（2024）年度が52%、令和7（2025）年度が43%と低迷していたが、令和8（2026）年度は53%となり、わずかではあるが回復の兆しが見られる。（8）	令和4（2022）年度より「高校生のための化学実験教室」を継続的に実施している。入学者数については、令和6（2024）年度は29名と一時的に低迷したものの、令和7（2025）年度は31名、令和8（2026）年度は44名と着実に増加しており、回復の兆しが見られる。今後も本取り組みを継続することで、さらなる入学者数の確保に努めたい。（8）

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	理学部臨床生命科学科の収容定員未充足の是正に努めること。	臨床検査技師の国家資格を取得できるコースだけではなく、臨床工学技士の国家資格を取得できるコースを設け、幅広い受験層の獲得を目指すため、令和7（2025）年度より工学部生命医療工学科と統合し、新たに生命科学部に医療技術学科を設置した。 今後も臨床検査技師、臨床工学技士と2種類の医療系国家資格が取得できる学科として、中四国、九州・沖縄エリアの受験生を中心にDMを発送し、周知を図っていく。 また、県内の高校教員を本学に招き、学科概要説明や施設見学を実施し、本学の魅力を伝えていく。（7）	履行済
	工学部応用化学科の収容定員未充足の是正に努めること。	申請時、工学部応用化学科の収容定員充足率は令和4（2022）年度72%、令和5（2023）年度65%であった。 理学部化学科同様、「化学」という名称で高校生に敬遠されがちであり、早い段階（中学校、高校の1・2年）にアプローチし、化学の面白さをアピールしているが、収容定員充足率は令和6（2024）年度52%、令和7年（2025）年度43%となっており、いまだ未充足の状況が続いている。（7）	履行中
		理学部化学科と同様に、高校における「化学」選択者の減少が大きな課題となっている。そのため、低学年次から化学への興味・関心を喚起することを目的に、令和7（2025）年度より理学部化学科と合同で「高校生のための化学実験教室」を開催している。その結果、入学者は令和6（2024）年度の17名から、令和8（2026）年度には32名にまで増加した。（8）	履行中
	教育学部初等教育学科の収容定員未充足の是正に努めること。	申請時、教育学部初等教育学科の収容定員充足率は令和4（2022）年度83%、令和5（2023）年度69%であった。 教育学部全体で積極的な高校訪問や出張講義により、学科の特色を受験生に周知している。 さらに、WEB広告等により学科のアピールを行っているが、収容定員充足率は令和6（2024）年度53%、令和7（2025）年度48%となっており、いまだ未充足の状態が続いている。（7）	履行中

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
		近隣競合大学の影響を受け、令和3（2021）年度以降、入学定員充足率は低下傾向にある。また、「岡山理科大学」という名称から文系学部である教育学部の存在が想起されにくいことも、志願者動向に影響を及ぼしていると考えられる。 これに対し、令和7（2025）年度より入学定員を10名減じる定員適正化を行った。あわせて、近隣自治体や高校へのアプローチを強化し、官学および高大連携による教員養成プログラムの実施に向けた働きかけを推進している。これらの取り組みにより、令和8（2026）年度の収容定員充足率は53%となり、わずかではあるが回復の兆しが見られる。（8）	昨年度から実施している近隣自治体との連携強化により、令和7（2025）年度の入学者数は31名であったのに対し、令和8（2026）年度は55名（入学定員充足率91.7%）と大幅に改善した。 今後も、教員不足が喫緊の課題となっている各県教育委員会との連携をさらに深め、本学独自の教育内容や地域課題に直結した連携事業の具体例を積極的に発信する。これにより、学科の社会的役割を明確に示し、収容定員の完全充足を目指していく。（8）
	教育学部中等教育学科の収容定員未充足の是正に努めること。	申請時、教育学部中等教育学科の収容定員充足率は令和4（2022）年度70%、令和5（2023）年度62%であった。 教育学部全体で積極的な高校訪問や出張講義により、学科の特色を受験生に周知している。 さらに、WEB広告等により学科のアピールを行っているが、収容定員充足率は令和6（2024）年度57%、令和7（2025）年度63%となっており、いまだ未充足の状態が続いている。 令和6（2024）年度の広報戦略及び入学定員減も重なり、収容定員充足率は改善傾向にある。（7）	県内及び近隣県の高校訪問を強化し、教員採用試験の合格者の多さやOB教員が多いなどの本学ならではの強みをアピールしていく。 また、教員不足が言われている中、近隣の自治体や高校にもアプローチし、高大及び官と連携して教員養成プログラムを実施できるような働きかけを行っていく。（7）
	【認可】 遵守事項	初等教育学科と同様、近隣競合大学との競争激化により、入学定員充足率は低下傾向にあった。また、「岡山理科大学」という名称から、文系学部である教育学部の存在が受験生に想起されにくいことも、志願者動向に影響を及ぼしていると考えられる。 これに対し、令和7（2025）年度より入学定員を10名減じる定員適正化を実施した。あわせて、近隣自治体との官学連携や高大連携による教員養成プログラムの構築を推進した結果、令和8（2026）年度の入学者数は53名（入学定員50名に対し充足率106%）となり、大幅な改善を見ることができた。（8）	初等教育学科と同様に、教育学部全体として、今後も教員不足が喫緊の課題となっている各県教育委員会との連携をさらに深めていく。本学独自の教育内容や地域課題に直結した連携事業の具体例を積極的に発信することで、学科の社会的役割を明確に示し、収容定員の完全充足を継続的に目指していく。（8）

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今後の の実施計画
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和7年度)	入学者選抜の適切な実施等を通じ、収容定員超過の改善に努めること。 (生物地球学部恐竜学科)	【A C】 指摘事項 (改善)	開設初年度である令和7（2025）年度は、入学定員45名に対して入学者数53名、収容定員充足率117%、開設2年目の令和8（2026）年度は入学者数54名、収容定員充足率117%と2年連続して収容定員を上回る結果となった。 上回った要因として、推薦入試および一般入試における併願制入試において、合格者の歩留まりが当初の予測を上回ったことが挙げられる。（8）	履行中	令和9（2027）年度の各入試においては、過去2年間の歩留率の状況から最適と考えられる歩留率を予測し、合格者数を可能な限り絞り込むことにより、収容定員超過の改善を目指す。（8）
	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。 (生命科学部医療技術学科)	【A C】 指摘事項 (改善)	令和7（2025）年度に開設したが、初年度の入学者数は46名（入学定員70名）に留まった。定員未充足の主な要因は、設置認可等の申請スケジュールの関係で、学生募集の開始時期が遅れたことにあると考えられる。 一方、令和8（2026）年度は56名まで増加しており、入学者数は上向き傾向にある。（8）	履行中	高校生への学科認知度が依然として不足していることが課題である。今後は、臨床検査技師および臨床工学技士の国家資格取得に向けた支援に加え、理系総合大学の強みを活かした独自の教育カリキュラムを近隣高校への訪問やDMを通じて周知し、定員充足を目指すしていく。（8）
	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。 (情報理工学部情報理工学科（通信教育課程）)	【A C】 指摘事項 (改善)	2026年度入学者選抜では、一般選抜の募集枠を20名から80名へ拡大し受入れ体制を整えた。結果、一般45人、学校推薦11人、社会人17人が入学したが、収容定員充足率は37%に留まった。 要因として、主要な募集源であった教育連携校のカリキュラム変更による志願者減に加え、社会人層への教育内容の訴求不足が挙げられる。 教育内容の充実の観点からは、通信教育支援センターによる教育の質保証チェック体制の検討を始める。（8）	履行中	収容定員未充足の早期改善に向け、入試制度の改革と教育の魅力向上を並行して推進する。「秋入学制度」を導入し、海外居住者や社会人が時期を問わず出願できる環境を構築する。通信教育課程の特性を活かしつつ、通学課程との合同企画や、実務に直結したりカレント教育コンテンツの拡充を行い、本学科ならではの学修メリットを明確化する。 これらの施策を通じ、アドミッション・ポリシーに基づく質の高い学生確保に努める。（8）

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和7年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「(7)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(8)」と記載してください。

【令和7年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「(7) (8)」と記載してください。

【令和8年度から新たに調査対象となった学科等又は令和7年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(8)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。

その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。

- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<生命科学部 医療技術学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では教員の教育能力を高める組織的・実践的取り組みとして平成12年度にFD委員会を設け、授業の改善を目的に教育システムの点検、授業内容（範囲及び水準）・方法の妥当性の検証等に全学的に取り組んできた。平成22年度には教育開発支援機構（平成28年度から教育支援機構、平成30年度から教育推進機構）を設置して、FD推進室を中心に取り組みの拡充を図り、学生による授業評価アンケート、教員間の授業参観、これらの有効性・妥当性の検証と啓発・周知を図るための講演会等の研修、各種報告書の作成と公開に取り組んできた。

全学のFDを推進する業務を担ってきたFD推進室は、平成28年度の全学的な教育研究組織の改編に伴い、教育支援機構（平成30年度から教育推進機構）教育開発センターへと発展的に改組した。さらに、平成30年度からは、各学科・センターの教育内容、教育方法の改善に係る企画立案及び成果検証を推進する上で中核的な役割を果たす教員を「教育ディベロッパー」に任命する制度を、令和7年度より、大学院（修士課程を有する各専攻）にもその対象を拡大した。また、令和2年度から教育に関する重要事項を審議する場として、学部代表も構成員に加えた「教育推進機構会議」を設け、教育推進機構の各センターの教育改革を全学的に機能させる体制を整えた。

教育推進機構教育開発センターが立案したFDの実施計画は、「教育推進機構会議」における審議を経たのち、「教学委員会」において学部（研究科）教員に情報を提供している。「教育推進機構会議」では、それ以外の教学に関する重要事項についても審議している。各学部においては、学部教授会の前後に「学部懇話会」の時間を設けFD活動に取り組んでいる。

また、教育研究活動の適切かつ効果的な運営を図り、教職員として必要な知識や技能を修得させ、能力及び資質を向上させるための研修としてSDを計画的に実施している。SDに関しては「SD推進委員会」を設け、SDの実施方針、実施計画等を審議している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

「教育推進機構会議」は、(1)教育推進機構長、(2)教育推進機構副機構長 (3)学部代表（兼 研究科代表）各1名、(4)教育開発センター長、(5)自然科学教育センター長、(6)人文社会科学教育センター長、(7)教職支援センター長、(8)学芸員教育センター長、(9)IRセンター長、(10)教学支援部長、(11)教学・学生支援部長（今治キャンパス）(12)その他教育推進機構長が必要と認めた者を構成員とし、毎月1回開催する。

「教学委員会」は、大学全体の方針を踏まえ学部、学科、機構等との教学に関する情報共有や意見調整を行うことを目的とし、毎月1回開催する。(1)副学長、(2)学部長、(3)学科長・コース長、(4)副機構長、(5)教育開発センター長、(6)IRセンター長等を構成員とする。

「SD推進委員会」は、(1)学長、(2)副学長、(3)事務局長、(4)事務局次長、(5)庶務部長、(6)経営改革本部HR推進部長を委員として、SDを計画的、組織的に実施し、実施内容について点検・評価するため年に数回開催する。

c 委員会の審議事項等

FD活動については、教育推進機構内の教育開発センターが研修会・講習会などを企画しており、重要事項については教育推進機構会議の審議を経て業務を推進している。学部、学科等に対しては、教学委員会を通じて情報の周知及び共有に努めている。

SD活動については、SD推進委員会を設けて庶務部を中心に実施計画を作成し、事務職員の部課長会議等でSDの実施計画や結果等の情報を周知している。

② 実施状況

a 実施内容

- (1) カリキュラムアセスメント（学科・専攻の評価に対する他学科・他専攻評価によるカリキュラム改善）
- (2) 卒業生・修了生アンケート、卒業生・修了生インタビュー
- (3) 全学FD講演会、教育ディベロッパー研修会、フォローアップFD及び学部懇話会並びに職員研修（SD）の実施。
- (4) 学生による授業アンケート

b 実施方法

- (1) カリキュラムアセスメントは、学部・学科・専攻の卒業・修了生がどの程度DPを修得したのか、カリキュラム改善を目的として、自己（自学科・専攻）評価、他者（他学科・専攻）評価を行うものであり、学部学科・研究科専攻ごとにアセスメントポリシーを設けている。
- (2) 卒業生・修了生アンケートは教育改善や学生支援の充実に目的とし、全学の卒業生・修了生対象に実施する。卒業生・修了生インタビューは直接、学生にインタビューを行い、教育改善に活用する。
- (3) FD講演会、SDは講師による講演と質疑応答を行い、各教員が授業改善・業務改善の取り組みに生かす。講演会にはワークショップをセットにする場合もある。全学対象の講演会の他、各学部・研究科・機構単位に実施する懇話会にFD的な内容を設ける場合もある。
- (4) 授業改善のための授業アンケートに関しては③に後述する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和7年度の実施状況は下記の通りである。令和8年度もFD・SD講演会を実施する計画である。

FD関係

No	実施日	研修名	参加人数
01	2025/04/16（水）	獣医学部ハラスメントFD研修会	37
02	2025/05/14（水）	ICT研修会	41
03	2025/05/19（月）	全学FD研修会（学生の性の多様性に関する対応ガイドライン）	434
04	2025/05/26（月）	2025年度入試FD研修会	235
05	2025/05/28（水）	第1回教育ディベロッパー研修会	37
06	2025/06/04（水）	全学FD研修会（2024年度カリキュラムアセスメント・チェック）	20
07	2025/06/25（水）	全学FD研修会（学修成果の可視化）	106
08	2025/07/16（水）	全学FD研修会（情報セキュリティ基礎講習）	386
09	2025/07/18（金）	獣医学部FD研修会（令和7年度SPOD講師派遣プログラム）	17
10	2025/07/28（月）	令和7年度研究インテグリティに関するFD研修会	237
11	2025/07/30（水）	第2回教育ディベロッパー研修会	41
12	2025/09/13（土）	英語教員FD会	5
13	2025/09/24（水）	第3回教育ディベロッパー研修会	32
14	2025/09/27（土）	全学FD研修会（教職シンポジウム2025）	15
15	2025/11/12（水）	教職学協働FD研修会	36
16	2025/11/18（火）	全学FD研修会（情報セキュリティ基礎講習）	354
17	2025/11/26（水）	第4回教育ディベロッパー研修会	34
18	2025/12/03（水）	全学FD研修会（2026年度シラバス作成関連）	142
19	2026/01/07（水）	企画広報FD研修会	192
20	2026/01/21（水）	全学FD研修会（大学業務における生成AIの利活用）	419
21	2026/02/25（水）	全学FD研修会（大学院科目ナンバリング／TASAガイドと事前・事後研修）	98
22	2026/02/26（木）	FD講演会（URA島田氏講演会）	30
23	2026/03/06（金）	IB全学FD研修会	80
24	2026/03/13（金）	全学FD研修会（CAC）	19
25	2026/03/16（月）	全学FD研修会（FD活動報告会）	73

SD関係

No	実施日	研修名	参加人数
1	2025/4/1（火）	新採用者研修	38
2	2025/5/19（月）	学生の性の多様性に関する対応ガイドライン	444
3	2025/5/26（月）	入試広報セミナー	156
4	2025/5/30（金）	情報セキュリティ研修会	1,039
5	2025/6/10（火）	「心の健康づくり」計画に基づく研修	99
6	2025/7/16（水）	情報セキュリティ講習	386
7	2025/7/28（月）	研究インテグリティに関する研修	257
8	2025/7/30（水）	ハラスメント研修会	1,002
9	2025/8/22（金）	文章読解・作成能力について	54
10	2025/8/26（火）	ティーチングポートフォリオの作成・掲載	50
11	2025/9/4（木）	メンタルヘルスマネジメント研修	128
12	2025/9/5（金）	補助金制度について	13
13	2025/9/24（金）	学生支援のためのFD・SD研修	327
14	2025/10/29（水）	こころの健康講座	291
15	2025/11/12（水）	教・職・学体制での協働プロジェクト企画について	53
16	2025/11/13（木）	補助金研修	43
17	2025/11/18（火）	情報セキュリティ講習	354
18	2026/1/7（水）	企画広報センターSD・FD研修会	192

生命科学部において令和6年度に以下のFD研修会を学部懇話会としてオンライン（VOD形式）で開催し、学生の修学状況の把握、学生ケアや評価方法、科研費申請、情報セキュリティに関する教員意識の共有を行った。

2024/5/14～5/24	令和6年度第1回生命科学部懇話会	参加者20人
2024/7/17～8/2	令和6年度第2回生命科学部懇話会	参加者27人
2024/11/20～12/6	令和6年度第3回生命科学部懇話会	参加者27人
2024/12/9～1/6	令和6年度第4回生命科学部懇話会	参加者23人
2025/1/30～2/24	令和6年度第5回生命科学部懇話会	参加者23人

23の講義に対して教員相互の授業参観を実施した。

医療技術学科において以下の通り令和7年度に2回、令和8年度に1回FD研修会を開催し、学科教員に必要な知識の確認などを行なった。

2025/4/2	医療技術学科FD研修会（医療技術学科カリキュラム等について）	14名参加
2025/7/2	医療技術学科FD研修会（医療技術学科1年生のコース配属について）	14名参加
2026/4/1	医療技術学科FD研修会（2026年度医療技術学科重点項目について）	14名参加

令和8年度も学科教育に関連した医療技術学科独自のFD研修会を企画し、複数回実施する予定である。
また医療技術学科教員全員が、生命科学部FD研修会・懇話会にも参加することとしている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

本学はアセスメントポリシーを定めており、卒業・修了予定者を対象にカリキュラムコンサルティング（学生インタビュー）やアンケートを実施し、その結果に基づいて各学科がカリキュラムについて自己評価を行い、その自己評価結果に対して他学科による他者評価を受ける取り組み（カリキュラム・アセスメント）を教育開発センターが中心となって実施している。教育開発センターでは、カリキュラム・アセスメントの結果を学科・専攻へフィードバックすることにより、授業改善等に取り組んでいる。令和8年度より岡山キャンパスでは従来の期末試験を廃止し、15週内での多面的な成績評価へと移行した。これにより、16週目は学修指導や再評価の期間として活用され、よりきめ細やかなフィードバック

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての授業科目に対してLMSによる授業アンケートを実施している。質問項目は、学生自身の学習の取り組み、授業内容の水準、教員の熱意、満足度などであり、自由記述欄も設けている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

授業担当教員は授業アンケートの集計結果をWeb上で確認し、集計内容や自由記述欄への記述に対するコメントとして所見をWebシラバス上に登録することになっている。所見は学生・院生・教員が自由に閲覧できるよう、Webシラバス上に公開している。学生の意見に対して教員が応えるという双方向性を持たせることにより、継続的な授業改善が行われるようにしている。

なお、全学の授業評価結果（授業アンケート経年比較）は「授業アンケート調査結果報告」としてホームページに掲載し、情報公開している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

医療技術学科は、生命科学の基礎を学び、生物学と化学あるいは生物学と物理学を基盤とした確かな学問的能力を形成し、実践的な学問として臨床検査学あるいは臨床工学を体系的に学ぶことで、EBM(Evidence-Based Medicine:根拠に基づく医療)を理解し実践する力を培い、さらに自主的学修を習慣として身につけることで、医療人としての誇りを醸成し卒業後も研鑽を重ねて生涯学び続けることができる人材の養成を目的とする。

医療技術学科では入学時にはコース選択は確定せず、入学後1年次前期のうちに適切な履修指導を行いながら学生自身の希望と適性を考慮してどちらのコースに所属するか決定することになっている。1年次後期からは臨床検査学コースまたは臨床工学コースのどちらかに所属し、それぞれのコース専門科目の履修を開始することになる。

そのために、臨床検査学コース教員1名と臨床工学コース教員1名で構成した1年次チューターが中心となって新入生オリエンテーションを実施し、履修指導や資格取得に関する説明を行った。具体的には基盤教育科目と専門教育科目によるカリキュラムや国家資格取得の条件についての詳細な説明をした上で、コースごとの専門性について解説した。その上で学生個人の学修興味を追求するための履修登録を行なったが、ここではチューター以外の学科教員も参加し手厚い指導を実施した。

開設1年目(令和7年度)は、募集人員70名に対し46名(定員充足率0.65)、2年目(令和8年度)は56名(定員充足率0.80)が入学した。2年続けて定員を満たすことができなかったが、定員充足率は向上しており学科の知名度が少しずつ上がってきている。次年度以降も継続して医療技術学科への応募者が増加するように、学科のコンセプトや教育・研究の魅力を受験生へ十分に浸透させて行く必要がある。そのために高校訪問等での高校への直接の説明や、ホームページやパンフレット、オープンキャンパス等での広報活動や高大連携教育活動に積極的に取り組む方針である。

医療技術学科では生命科学部と共同して事業計画を立て、主に入学者の増加を目指した方策等を実施する。また医療技術学科FD研修会を実施して、学生指導や資格取得の支援に関する教員意識の共有を行う予定である。さらに医療技術学科教員は学生の修学状況の把握、学生ケアや評価方法に関する教員意識の共有を目的とした生命科学部FD研修会及び各教員の研究を紹介することで相互理解を深め、共同研究を推進するための生命科学部懇話会にも参加することになっている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

・令和8年7月1日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定(令和8年7月1日を予定)

③ 認証評価を受ける計画

令和2年度に評価機関(大学基準協会)の認証評価を受け、大学基準に適合していると認定されている。

【認定期間:2021(令和3)年4月1日から2028(令和10)年3月31日】

(注)・設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書(令和8年度)

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表(予定)時期 ☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2~3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 ☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。